



森 PEACE OF FOREST

著者名	小林 康宜	発行年	2016年
出版社名	世界文化社	ページ数	240ページ
値段	2,484円	ISBN	978-4418162123
コメント	まずは、なごみ系から入りましょう。 森林浴。たっぷりと心ゆくまで森に浸れます。 バオバブの木に白い鳥が止まっているショットに思わず頬がゆるみます。本文(?)中に文字が1コもないのも潔い。気に入ったところで立ち止まって、気になるなら巻末インデックスをどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
mini ☆☆☆☆	見てだけで自然の癒しを感じられてとても癒された。大学生のうちにこういう自然いっぱいのところに出かけたい			
	1-240	240P (30分)		2017/11/30 19:57:42
すぶたん ☆☆☆☆	ただひたすら、無言で自然を感じました。			
	1-240	240P (240分)		2017/11/30 15:55:11
yami ☆☆☆☆	自然に囲まれた空気を吸いたくなるような本でした。 最初のほうの緑色から橙色に変わるあたりなどは謎に感動してしまいました笑。入り込みすぎたせいか途中、伐採された木のページでは謎に悲しくなりました。改めて自然の美しさを知ることができました。			
	1-240	240P (5分)		2017/11/30 14:30:27
りんご ☆☆☆☆	写真集を普段読まないのが新鮮でした。 緑が綺麗でペラペラとどんだんめくっていくのもよし、ぽっと見つめるも良きという感じでした。			
	1-240	240P (20分)		2017/11/29 12:42:02
パンナコッタ ☆☆☆☆	とにかく癒されます。心の浄化。 ほとんどのページに文字がないため、ときどき「ここはこの写真なんだろう」と気になりますが、最後のページに各写真の解説が載っていました。			
	すべて	240P (20分)	ぽっとひらいたところ(どこでも)	2017/11/29 11:38:42
なおみ ☆☆☆☆	癒されました。疲れた日の夜、寝る前に読んだりしたらすぐ快眠できそうな本。行ったり来たり読んで、ここが一番好きだなとか行ってみたいとか考えてみるのが楽しかった。			
	1-240	240P (30分)	全部	2017/11/29 11:24:37

ネル ☆☆☆☆	森の写真集。癒しが得られました。森の中でも木や葉の写真が多め。			
	1-240	240P (20分)		2017/11/27 22:16:55
Y ☆☆☆☆	見るだけで大自然の圧倒的な力を感じられる写真集。 実際に行ってみて肌で感じてみたいと思った。			
	1-240	240P (30分)	42,43	2017/11/24 21:32:28
バインアメ ☆☆☆☆	写真集なので、一瞬で読める。写真がどれもとにかく綺麗。 立ち読みポイントは、並木の下に人がいる写真。「こんなところに住みたい」と思わされた。			
	1-224ページ	224P (10分)	170,171ページ	2017/11/23 16:34:59
Did ☆☆☆☆	森を見たり、木を見たり、葉っぱを見たり、土地まるごとを見てみたり。それぞれに色々な顔があって、見るだけで癒される。最近疲れてたので良い息抜きになった。			
	全部	239P (40分)	182	2017/11/16 18:44:08
宇宙 ☆☆☆	日本ではあまり見られないような色彩の風景を楽しむことができます。			
	145-183	38P (15分)	Journy	2017/11/14 02:20:21
履修者A ☆☆☆☆	広大な自然の写真から、人間の存在を忘れるような静けさを得られる。偉大な自然を見ていて謙虚な気持ちになる。 タイトル通り森林にある平和のパワーを感じた。			
	1-238ページ	238P (20分)	1-20ページ	2017/11/07 11:06:47
ミスティール ☆☆☆☆	美しい風景とその合間に出てくる動物がなんと愛らしい本。また最後の筆者の文章「人類は支配者ではない」は心にくるものがある			
	1-229	229P (10分)	50頁の紅葉	2017/10/30 21:58:48
ドナルドダック ☆☆☆☆	美しい森が様々な角度から、様々な距離から撮ってある。美しい写真が24ページいっぱいに入れてあり、見ているだけで森林浴をしているように感じ疲れが取れる。寝る前に読むと快適な眠りのサポートになると思った。 自然の写真集を初めて見たが、想像以上のリラックス効果を持つと感じる。勉強、結婚、子育て、病気についての本を読む人は悩みを抱えている人が多いと考えるので、このような本には森や山などの自然の写真を挿入すると、本の内容からも挿入がからも安心感が得られていいと思う。			
	全部	240P (120分)	P23	2017/10/28 20:44:00
マヨネーズ ☆☆☆☆	草木、動物を含めた森の写真が続く。森の包容力に包まれたような、安心感を覚えるような写真集である。見ていて居心地がよかった。			
	1-239	239P (30分)	84ページ	2017/10/03 11:02:09
こやし ☆☆☆☆	一面に広がる大森林からこの本は始まる。写真を眺めるだけで森林浴をしたような気分になる。生まれ変わったらこんな自然に囲まれて暮らしたい。 真っ直ぐな秋田杉に生命力を感じた。パオバブを見て、星の王子様を読みたくなった。			
	1-223	223P (20分)	118	2017/09/29 11:06:51



地球を「売り物」にする人たち

著者名	マッケンジー・ファンク	発行年	2016年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	426ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4478028933
コメント	固めのハードカバーのなかで、ヤマムロ的イチオシ。 地球温暖化で今世界に起きているホントのことは？ 損する南国、得する北国。裏で高笑いしてるヤツはダレだ？ ジャーナリストさんが徹底した現地主義で、リアルに暴き出します。世界の複雑さとおもしろさを突き付けて秀逸。 各班1章分担しての中間プレゼンに使いますので、どなたさまもコメントさえ書けば1冊分のポイントになります。 原題Windfall 何かな？って検索したら、たなぼたっていう意味でした。大納得。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
りゅ	☆☆☆	授業分	33P (20分)	バイオ産業の今後、またその正の側面と負の側面の両方が気になった。		2017/11/30 23:19:43
wase	☆☆☆	授業分	30P (15分)	長く取っ付きにくいテーマだったが授業で班員と深めることができた。 こういう本が一人で読める人はすごいと思う。 説明文の好きな人にはオススメしたい。		2017/11/30 22:10:32
mini	☆☆☆	授業分	30P (45分)	地球温暖化で得をする人たちがいるとは知らなかった。最近数年前よりは'地球温暖化'というワードを聞かなくなった気がする...		2017/11/30 20:19:39
あああああ	☆☆☆	SHELL GAMES	28P (30分)	授業で扱った一冊。 論理の展開がつかみづらく、読みづらかった。 未来のシナリオを想像する専門家を部門として会社に設置し 業績を上げたシェルについて読んだ。 自分にとって新鮮な内容であった。		2017/11/30 17:13:29
すぶたん	☆☆☆	授業分	33P (33分)	水を運ぶという内容が印象に残っている。袋詰めして浮かべて流そうとしたり、なんか面白い。		2017/11/30 15:18:51
マヨネーズ	☆☆☆	155-184	30P (30分)	水の価値が今後とても高くなると予想され、水ビジネスが行われていることを知った。こういう将来を予測することができるかできないかで儲かるか決まると実感した。将来に対して、もっと興味を持つべきだと感じました。		2017/11/30 14:09:57

yami ☆☆☆	バトカーに広告貼るのもまた一興やな。			
	広告のどこ	30P (30分)		2017/11/30 13:58:35
なおみ ☆☆☆☆	GREEN WALL, BLACK WALLの章。 正直読むのは大変だったけれど、ものすごく勉強になった本。今までも授業やテレビ番組で「環境問題について考えてみましょう」なんて機会は何度もあったけれど、そのたびに考えが理想論で終わってしまっている気がして、じゃあ実際どうするの？と実りのない議論になることが多い気がしていた。 その感じが晴らされた。環境問題は経済の問題である、環境問題は国際関係の問題である。そう言い切って議論を深めてくれた筆者の主張はとても明快で、独創的だけど論理に適っていて、とても勉強になった。とてもおすすめ。			
	220-255	35P (60分)	225-229	2017/11/30 12:59:27
めだまやき ☆☆	地球温暖化の影響でバイオ産業が栄える、という内容について。前半部分はひたすらカリフォルニアの従来の蚊の除去法が書かれていて、何が言いたいのかを理解するのに時間がかかった。やはり、自分の知らない地域の問題点について書かれていると、読むのが難しいと感じた。普段は、日本人作者の文章しか読まないが、もう少し訳書にも挑戦して、読解力・理解力をつければ、と感じた。グループ発表を聞いて、様々な知らない環境問題が出てきたので、内容にはとても興味が湧いた。環境保護だけを訴えるのではなく、環境と人間の社会活動の関係性を捉えようとしている点が新鮮だった。			
	第11章328-354ページ	27P (10分)	328-354ページ	2017/11/30 12:38:37
きっしー ☆☆	読みにくかった。 日本とは別の視点から地球温暖化を見たりしたい面白。			
	グリーンランド	25P (20分)		2017/11/29 23:26:34
バインアメ ☆☆☆	「緑の長城」の章。 環境問題も移民問題も経済が密接に関わっていると感じた。			
	220-255ページ	36P (30分)		2017/11/29 17:27:19
YA ☆☆☆	授業分。文体が読みきれないものでなかなか内容をつかみづらかった。隙をついて儲けようとするような特許ビジネスの実態についてだったのがなかなか難しい。			
	problem solved	36P (15分)		2017/11/29 17:01:30
かえる ☆☆	授業で扱った。すごく長いからなにかすごいことが書いてあるのかと思ったが、そういうわけでもなく冗長な感じがした。文体が古いのかな？わかりにくくて辛かった。			
	2-39ページ	38P (20分)	なし	2017/11/29 16:01:01
しろた ☆☆☆	温暖化で得をする国、損をする国がある。地球が一つの国でできていればいいのだがそういうわけではないので、国同士で建設的な議論ができればいいのにと感じた。			
	グリーンランド	25P (25分)		2017/11/27 19:38:54
こたつ ☆☆☆	グリーンランドのように地球温暖化の結果で得することもある。そのようにあらゆる物事には正の側面と負の側面があることを教えてくれる。			
	72-96	25P (30分)		2017/11/27 17:33:49
まりも ☆☆☆☆	授業で読んだ部分。科学技術の特許ビジネス。 経営工学の研究の多くは「問題解決」に集約される。 この特許ビジネスの人たちも、やっていることは「問題解決」のビジネスだし、僕らもこういった仕事をする日はやってきてもしょうかなあと。 自分のやっている仕事が良いかどうか、判断できる立場には最低限なりたい。 あと、やってはいけないことはなるべくやらず、人間としての尊厳は保っていきたい			
	356-395	10P (15分)		2017/11/27 10:55:36

睡魔 ☆☆	講義で利用した分。 非常に読みにくわかりにくい文章だったが、地球温暖化で北極の水が溶けているのは経済的な好機であるという考えやシェルのシナリオプランニングは興味深かった。			
	42-69	28P (30分)		2017/11/27 10:23:29
イワシは舞い降りた ☆☆☆	授業配布分。水利権の部分。事実は小説よりも奇なりとまでは言い過ぎであるが、曲がりなりにも先進国に生きていると真水が投機対象になるとは想像しがたいものだと感じた。			
	157-184	28P (15分)		2017/11/24 00:06:15
たたた ☆☆☆	バイオ産業のこれからに期待			
	バイオ	20P (15分)	バイオ	2017/11/23 19:52:06
なめしん ☆☆☆☆	バイオ産業はこれからどんどん盛んになってくるものだと思うので今後ニュースででた際は気にしていきたいと思う。			
	328-354	26P (20分)		2017/11/19 15:53:31
Whereabout ☆☆☆	授業資料で読む。 なかなか読み応えがあった。 最近は温暖化や資源の問題をあまり聞かないけどどうなったんだろう。			
	220-255	35P (40分)		2017/11/16 15:14:25
くま ☆☆☆	授業で扱った農地強奪の部分。 非常に難しかった。特に、ハイルバーグという男の考えは理解できたようで結局理解できなかった。			
	185-217	33P (40分)		2017/11/16 14:41:53
hanpen ☆☆☆☆☆	授業で扱い、面白かったのでそのまま読みました。温暖化問題といえば、CO2を出し尽くした先進国と途上国の食い違いぐらいしか問題を知りませんでしたが、そもそも温暖化でビジネスチャンスを得ている地域があるというのが目から鱗でした。特に北極圏、水利権がらみは興味深かったです。			
	1-326	326P (300分)	4-39	2017/11/14 10:54:20
Abe_Shinzo ☆☆☆	グリーンランド担当。 面白い考察だが、やや学術寄りで自分で買って読もうとは思わない・・・かも			
	グリーンランド	25P (20分)		2017/11/09 14:34:31
りんご ☆☆☆	かなり読みにくかった。ハイパーグとマティップの会話、時系列がいまいち理解できず、難しかった。混乱に乗じて第三者が奪うという構図は農地に限らず起こることだと思った。			
	185-217ページ	33P (30分)		2017/11/07 10:59:34
50 ☆☆☆☆	UPHILL TO MONEY 水を年対象とする話。 水は誰しもが必要な資源でありなくては生きていけない物。 これを金銭で売買することの是非を問う作品であった。			
	155-184	30P (60分)		2017/11/02 18:47:26
柿の種 ☆☆☆	UPHILL TO MONEY 水を年対象とする話。 近年日本の土地も中国資本に買われ、水資源も中国に取られるかもしれないとか、、、 是非一読してほしい作品			

	155-184	30P (20分)	155-161	2017/10/31 08:58:33
マーライオン ☆☆☆	プレゼンでは「GREEN WALL, BLACK WALL」を担当しました。 セネガルの緑の長城は砂漠化を防ぐのか、移民問題を防ぐのか、というテーマでした。僕はこの章を通して、環境問題は経済や国際関係の問題であると考えています。だからこそ利害をもたらすファクターの間で、解決は難しいのではないのでしょうか。			
	220-255	35P (20分)	225-229	2017/10/31 00:09:17
Did ☆☆☆	環境問題、ビジネス、テクノロジーががっつり被ってる話だった 地球温暖化に関してはCO2だとか氷が溶けて海面上昇とかにしか目がいかないが、もっと先を見据えて(悪い意味でも)有利に立ち回っていかないとなあと思わされました			
	297-326	30P (40分)		2017/10/30 22:52:08
ミステイール ☆☆☆	授業で扱った時の。オランダの護岸壁は特になんというか批評するような内容ではなかったので、考察が難しかった。			
	298-326	29P (8分)		2017/10/30 22:01:59
こあら ☆☆☆	講義用で読んだ。読みづらい本であった。 担当した箇所は第6章。水が投機対象になっていく歴史と現状を取り上げていた。繰り返し読まないで理解出来なかった。			
	155-184	30P (60分)		2017/10/30 15:37:40
火に強い ☆☆☆	授業で使った奴です。護岸壁、販売中。でオランダ人セールスマンをやってみました。 難しいよコレ……。			
	297-326	29P (20分)	297-326	2017/10/27 14:49:42
ドナルドダック ☆☆☆☆	北にある先進国は地球温暖化の恩恵を受け、南にある途上国は地球温暖化から損失を被っている世界で良いのかと考えさせられました。この北国と南国の対立は同じような対立が世の中にはたくさんある。例えばかつての貴族と農民、今でも生涯で使い切れない高い収入を得ている富裕層と家のない貧民層、というように一方が恩恵を受けもう一方は損失を被る対立は多い。生まれながらに立場が決まってしまうのは良くないと思う。			
	全部	426P (300分)	326-345	2017/10/27 10:21:19
むーびー ☆☆	グリーンランドについて色々知れた。 著者の体験談はいらなかった。			
	グリーンランドのとこ	25P (20分)		2017/10/24 08:53:53
どらやき ☆☆☆☆	授業で扱われたときに読んだ。 地球温暖化は悪いことばかり起こすと思っていたが、それによって恩恵を受ける産業がたくさんあることを知って驚いた。			
	p.326-354	29P (20分)	第11章	2017/10/24 08:41:34
painomi ☆☆☆	蚊の話 理解しやすい事例で助かった 地球温暖化で得をしているというのが面白い			
	356-395	40P (40分)		2017/10/23 23:37:45
B6 ☆☆☆	講義内で扱った。正直、難しすぎてあんまり頭に入ってこなかった。とりあえず、北極が争点になってることはわかった。			
	004-039	36P (45分)		2017/10/23 23:02:16

バピコ ☆☆☆	授業で扱った部分のみ読みました。読み込むほど疑問が湧いてくる興味深い内容でした。			
	124-153	30P (15分)	124-153	2017/10/23 22:09:08
あああ ☆☆	地球温暖化のもたらすものはたんなる環境の変化だけでなく、ビジネスもそうであるという話。物事を多面的に見ることを教えてくれる例だ			
	297-326	30P (15分)		2017/10/23 00:27:12
ウルトラマン ☆☆	あまり面白くない。			
	2-39	38P (30分)	特にない	2017/10/22 19:14:47
がんぼん ☆☆	地球温暖化によって資源が発見され利益を得たグリーンランドと、地球温暖化により沈んでしまう国のどちらを取るかを非常に難しい話題だった。			
	72-96	25P (10分)	なし	2017/10/22 01:06:08
こやし ☆☆	読みにくかった。筆者の体験と北極海についてが交互に話題になるので、整理しにくかった。しかし、このような本を自分から読むことはなさそうなので、良い機会だったと思う。			
	3-39	37P (40分)	5-6	2017/10/21 21:43:31
cy ☆☆☆	自分のグループの扱った部分を読んだ。一見、異常気象や地球温暖化を止めようとしているようにも見えるが、その裏で知財権で儲けようとしている科学者や企業の姿が描かれている。			
	356-395	36P (20分)		2017/10/21 12:16:43
TRY ☆☆	講義で扱った部分。投機対象である「次世代の石油」が水であるという話だ。さっと一読しただけでは、内容を正確に理解するのは難しいので、精読するのを勧める。			
	155-184ページ	30P (20分)	174-180ページ	2017/10/20 22:35:35
アヒル ☆☆	授業でグリーンランドの所を読んだ。 個人的に思った事としては、この事例はネーションが資源の帰属の根拠になるのではなく、資源の権益がグリーンランドの独立運動、つまりナショナリズムの高揚をもたらしたという点でも注目に値すると思う。			
	72-96	24P (30分)	なし	2017/10/20 17:29:49
パンナコッタ ☆☆	授業にて。 移民を防ぐための「緑の長城」、移民・難民からしたら酷い話だが、移民を受け入れたくないヨーロッパについても分かってしまう。 移民問題は受け入れるかどうかで考えると結論がつかないから、どのようにしてその国から移民・難民を出さないように国を良くするかを考えることが重要だと思う。			
	220-255	36P (20分)	220-225	2017/10/20 14:59:22
星羅 ☆☆☆	講義のために読みました。自分も興味があった内容で、色々考えさせられました。地球温暖化の恩恵を受けている人や国がある一方で、沈みゆく人や国もある。そういう状態での恩恵はどうなんだろうか。これは規制できるものではないし、新出市場によって経済が良い方向に変わることもあると思います。常に需要のあるビジネスを考えるのは悪いことではない、むしろ停滞している時の打開策にすらなり得ます。だからそういう人が現れるのは不自然なことではないし、そのお陰で助かる人がいるのであれば無しではないかな、と自分の中では結論づけました。			
	072-096	25P (30分)		2017/10/20 10:48:51
hand ☆☆☆	オランダの技術がすごいから水没とか洪水とかで困ってる国に護岸壁を売れる状況ができているという話。オランダはたまたま欧州にあったために技術が発達したわけだから、それは島嶼国に対して安価に提供すべきなのではないかと思った。			
	297-326	30P (20分)		2017/10/20 10:47:37

少年 ☆☆☆	講義で扱ったもの。 題材は興味深いが、話題がとっちらかって非常に読みにくい。			
	297-326	30P (30分)		2017/10/20 10:32:36
ひか太郎 ☆☆☆	シーンが何度も切り替わり、読みにくかったが、北極圏をめぐる権益争いの様子がわかった。			
	4-39	36P (30分)	11	2017/10/20 10:22:06
わんわん ☆☆☆	講義用。このページは北極圏の話。 結構長ったらしくて読みにくいと感じた。読み物っぽく書いているからそういうのが好きだと読みいいのかな？簡潔な評論文を期待すると大変かも 内容は興味深い。確実に来るであろう未来と、綺麗事では乗り切れない欲望と商売、その間の妥協の話だと思う。			
	42-69	28P (20分)		2017/10/20 09:55:50
アルペン号 ☆☆☆☆	公共事業にプラスで民間の保険会社(セキュリティー会社)に入り守ってもらうということは実にアメリカらしいことであり、自分の身は自分で守るアメリカ社会だからこそ、このような問題が起こるのではとも思った。			
	124~153ページ	29P (15分)	127ページ(第5章)	2017/10/20 01:42:30
elpistolero ☆☆☆	10/20の中間プレゼン用に読みました。南スーダンについてだからなのか文体が硬いからなのかあまり要旨をつかむことができませんでした。登場人物が何人かいたので、それらを整理した上でもう一回読んだ方がいいかも知れません。プレゼンがどのようなものになるか楽しみです。			
	184-217	34P (25分)	184-217	2017/10/17 14:29:49



米中もし戦わば

著者名	ピーター ナヴァロ	発行年	2016年
出版社名	文藝春秋	ページ数	412ページ
値段	2,095円	ISBN	978-4163905679
コメント	トランプおじさんの参謀の言うことだから、話はんぶん ^① に聞いといたほうがいいとは思うけど、それにしても、中国、いつのまにこんなに強くなってしまったんでしょう？ びっくりです。 最新の軍事地図は就活の企業選びにも必須の情報。知つといたほうがいいかも。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
りゅ ☆☆☆	米中ともに表の顔、裏の思惑が書かれており(筆者の独断の部分もあるが)非常に面白い。			
	授業分	15P (25分)		2017/11/30 23:28:36
mini ☆☆☆	世界に大きな影響力を持つアメリカと中国。平和を崩さないためにも戦争だけにはなってほしくない			
	授業分	5P (10分)		2017/11/30 20:15:35
あああああ ☆☆☆	授業で扱った一冊。 国際世論操作について担当。 授業の全体観として、この本はあらゆる立場から 各国の関係性について書かれており、部分読みでは 考えが偏る危険性を感じた。			
	国際世論の操作	6P (10分)		2017/11/30 17:24:32
wase ☆☆☆	米中の関係性がわかりやすかった			
	授業分	5P (10分)		2017/11/30 16:33:23
すぶたん ☆☆☆	戦争は嫌です。でも70%の確率で起こるらしいです。信じません。			
	授業分	5P (5分)		2017/11/30 15:28:31
マヨネーズ ☆☆☆	金正恩を暗殺するしかないという結論はぶっ飛んでいて面白かった。これを読んで戦争が起こる可能性を具体的に考えることができ、危機感が生まれた。			
	授業で扱った部分	5P (10分)		2017/11/30 14:14:10
yami ☆☆☆☆	歴史から見る米中戦争の起こる確率について書かれてあり信頼性はないが、ひとつの測りとして見れる。			
	授業でやったらとこ	5P (5分)		2017/11/30 14:04:47

ジョイ君 ☆☆☆	メディアでは日本と中国、日本とアメリカの関係について語られることが多かった印象があるがここでは軍事開発の進んでいるアメリカと中国の関係について書かれていて目新しいものがあった。将来のことだけでなく過去の実際にあった事件なども取り上げているので信憑性はたかそう。		
	129-134	6P (10分)	2017/11/30 01:31:18
YA ☆☆	1/100程度のコストで空母を鎮めることが出来るという衝撃的な内容の部分。トピックとしてのインパクトは強く授業はやりやすかった。ほかの部分も含めて、この本だけで判断するには偏りすぎているかなという印象。		
	空母キラー	5P (5分)	2017/11/29 17:06:02
パンナコッタ ☆☆☆☆	授業でやりました。 (社会情勢に詳しくなかったので、)米中戦争が起きる確率が高いことを知って驚きました。 軍事力と言われてまず思い浮かぶのはアメリカだけど、中国も「空母キラー」など、対米兵器をしっかりと備えているみたいです。		
	57-64	8P (5分)	57-64 2017/11/29 11:42:39
なおみ ☆☆	歴史の流れからして、かなり高い確率で米中戦争は起きちゃうよ、という話。やだよー———！ 読んだ部分に関しては ああなるほど納得、と思えたけれど、みんなのプレゼンを聞くにこの本は全部読まないで偏った意見だけ身についてしまう気がした。でも、かいつまんで読んでも面白い意見が聞けていいのかな、とも思った。		
	12-17	6P (6分)	2017/11/29 11:07:41
Z ☆☆☆	授業で読んだ箇所。 台湾が中国、アメリカにとってそれぞれどんな意味があるのか知らなかったので勉強になった。		
	140-145	6P (10分)	なし。 2017/11/29 00:40:26
こたつ ☆☆☆	特に証拠がある話ではなかったが日本の近くにある中国が地下に核ミサイルを持っているという話はリアルで読んでいてとても恐怖を感じた。		
	65-71	7P (10分)	2017/11/27 17:25:59
まりも ☆☆☆☆	「停戦」という名の「冷戦」がすぐ身近で起きているのに、韓国や中国に旅行に行きまくれる日本人は、やっぱり平和ボケしているんじゃないだろうか？		
	146-155	10P (10分)	2017/11/27 10:45:14
睡魔 ☆☆☆	サイバー戦争の部分。 ハッキングなど想定内のものから洗脳チップなど想定外の恐ろしいものまであった。中国に工場が集中していることをこれほど怖いと思ったことはない。		
	120-128	9P (5分)	2017/11/27 10:29:30
フランスパン ☆☆☆	まだまだ秘密を隠し持ってるような未知の国ですが、噂とはいえ地下に数多の核ミサイルを隠し持っていると考えるととても物騒ですね…		
	地下の万里の長城	6P (10分)	2017/11/25 22:48:22
Abe.Shinzo ☆☆☆	国防や戦争に全く興味がなく、危なくなったらどっかに逃げようという軽い気持ちだったのだが、当事者は大変なんだなあと感じた。内情がこうも見れるのは面白い。		
	324- 331	8P (10分)	2017/11/24 14:02:40
日本人 ☆☆☆☆	授業で「戦わずして勝つ」を担当した。アメリカは十分、他の国に尊敬されるだけの国力を持っていると思う。		
	324- 331	8P (15分)	2017/11/21 21:34:47

Whereabout ☆☆☆	過去の歴史から見るとアメリカと中国の衝突は避けられないというもの。 平和な世界であってほしいものだが…			
	12-17	5P (5分)		2017/11/16 15:17:14
くま ☆☆☆☆	授業で扱った部分。中国の強さが際立った印象と、アメリカの考えていることが単細胞のように、目先の利益に頼っている印象を受けた。時間があったら他の部分も読んでみたい。			
	324-331	8P (15分)		2017/11/16 14:43:41
柿の種 ☆☆☆☆	授業で「地下の万里の長城」を読みました。 初めて聞いたワードですが、こんな地下ミサイル施設があるなんて驚き。 知らないことがまだまだあるんだなと思いました。			
	地下の万里の長城	6P (5分)		2017/11/14 12:32:45
50 ☆☆☆☆☆	軍事力の均衡とは何か、抑止力とは何か、軍事力による平和の維持の意味等を理解するうえで大変参考になる本である。 東アジアでの戦争の惹起が懸念される今、多くの人に読んでもらいたい本である。			
	412	412P (500分)		2017/11/14 11:41:16
Did ☆☆☆☆	米中で戦争が起きたら日本も他人事ではない。核の脅威が北朝鮮以外にもあることを意識して、動向に注意しなきゃなければいけないと思われた			
	65-71	7P (10分)		2017/10/30 21:40:18
こあら ☆☆☆	全体的にアメリカの視点からアジアの軍事情勢を見ている本であった。やや考えに偏りがある気はしたが、中国や北朝鮮の軍事問題、防衛問題を知るのに良い本であると思った。			
	全部	412P (180分)	146-155	2017/10/30 15:28:52
ドナルドダック ☆☆☆☆☆	授業で読んで、世界情勢を例を交えながらわかりやすく書いてあると思い全て読みました。普段理系の勉強ばかりしていて、ニュースのある時間にはサークルやバイトにいているので、あまり世界の出来事を詳しく知らなかったが、この1冊で多くを知れてよかった。			
	全部	412P (250分)		2017/10/27 09:59:01
星羅 ☆☆☆☆	講義で読んだ箇所です。日本は、選択次第ではいつでも戦争に巻き込まれてもおかしくないため、慎重に選択を行う必要があるといった内容でした。戦争なんて歴史の中の出来事で、自分が巻き込まれるというのは非常に想像しにくいし、戦争をしても得られるものは少なく、失うものの方が遥かに多いように思います。北朝鮮の核問題も含め、平和的解決は難しいのでしょうか…。なかなか難しい議題でしたが、この機会に深く考えさせられました。			
	156-164	9P (10分)	164	2017/10/23 22:57:17
こやし ☆☆☆	北朝鮮とその周りの国々との関係を学ぶことができた。また、北朝鮮をきっかけとして他の国同士まきこんで戦争が起こりうるのは怖いと思った。			
	146-155	10P (10分)	146-155	2017/10/21 21:59:25
hanpen ☆☆☆	講義で担当した部分です。米中戦争と言った、少し偏った見方な本だなとも思いましたが、他班をみても、小さな火種はたくさんあり、自班では軍事上においては台湾が大変重要な位置にあることがわかりました。沖縄、フィリピン等がWW?の際苛烈な戦場になった理由もこれを通してわかった気がします。			
	140-145	6P (10分)		2017/10/20 17:12:34
hand ☆☆☆☆	「不沈空母 台湾」を担当。 中国には台湾を自国の領土にしたいという理由がたくさんあり、米はただ一つの絶大な理由で資本主義国として守り			

Whereabout ☆☆☆	過去の歴史から見るとアメリカと中国の衝突は避けられないというもの。 平和な世界であってほしいものだが…			
	12-17	5P (5分)		2017/11/16 15:17:14
くま ☆☆☆☆	授業で扱った部分。中国の強さが際立った印象と、アメリカの考えていることが単細胞のように、目の利益に頼っている印象を受けた。時間があったら他の部分も読んでみたい。			
	324-331	8P (15分)		2017/11/16 14:43:41
柿の種 ☆☆☆☆	授業で「地下の万里の長城」を読みました。 初めて聞いたワードですが、こんな地下ミサイル施設があるなんて驚き。 知らないことがまだまだあるんだなと思いました。			
	地下の万里の長城	6P (5分)		2017/11/14 12:32:45
50 ☆☆☆☆☆	軍事力の均衡とは何か、抑止力とは何か、軍事力による平和の維持の意味等を理解するうえで大変参考になる本である。 東アジアでの戦争の惹起が懸念される今、多くの人に読んでもらいたい本である。			
	412	412P (500分)		2017/11/14 11:41:16
Did ☆☆☆☆	米中で戦争が起きたら日本も他人事ではない。核の脅威が北朝鮮以外にもあることを意識して、動向に注意しなきゃなければいけないと思われた			
	65-71	7P (10分)		2017/10/30 21:40:18
こあら ☆☆☆	全体的にアメリカの視点からアジアの軍事情勢を見ている本であった。やや考えに偏りがある気はしたが、中国や北朝鮮の軍事問題、防衛問題を知るのに良い本であると思った。			
	全部	412P (180分)	146-155	2017/10/30 15:28:52
ドナルドダック ☆☆☆☆☆	授業で読んで、世界情勢を例を交えながらわかりやすく書いてあると思い全て読みました。普段理系の勉強ばかりしていて、ニュースのある時間にはサークルやバイトにいらっているの、あまり世界の出来事を詳しく知らなかったが、この1冊で多くを知れてよかった。			
	全部	412P (250分)		2017/10/27 09:59:01
星羅 ☆☆☆☆	講義で読んだ箇所です。日本は、選択次第ではいつでも戦争に巻き込まれてもおかしくないため、慎重に選択を行う必要があるといった内容でした。戦争なんて歴史の中の出来事で、自分が巻き込まれるというのは非常に想像しにくいし、戦争をしても得られるものは少なく、失うものの方が遥かに多いように思います。北朝鮮の核問題も含め、平和的解決は難しいのでしょうか…。なかなか難しい議題でしたが、この機会に深く考えさせられました。			
	156-164	9P (10分)	164	2017/10/23 22:57:17
こやし ☆☆☆	北朝鮮とその周りの国々との関係を学ぶことができた。また、北朝鮮をきっかけとして他の国同士まきこんで戦争が起こりうるのは怖いと思った。			
	146-155	10P (10分)	146-155	2017/10/21 21:59:25
hanpen ☆☆☆	講義で担当した部分です。米中戦争と言った、少し偏った見方な本だなとも思いましたが、他班をみても、小さな火種はたくさんあり、自班では軍事上においては台湾が大変重要な位置にあることがわかりました。沖縄、フィリピン等がWW?の際苛烈な戦場になった理由もこれを通してわかった気がします。			
	140-145	6P (10分)		2017/10/20 17:12:34
hand ☆☆☆☆	「不沈空母 台湾」を担当。 中国には台湾を自国の領土にしたいという理由がたくさんあり、米はただ一つの絶大な理由で資本主義国として守り			

	これから日本がする可能性がある選択についてのメリットや、デメリットについて書かれていました。 どのような選択をするかにより日本は戦争に巻き込まれる可能性があり、選択は慎重に考えなくてはならないと思いました。			
	156-164	9P (5分)	156	2017/10/13 10:43:36
ウルトラマン ☆☆☆☆	アメリカとっても、中国にとっても、台湾は重要な意味を持つことを理解できましたが、現実上戦争は発生しにくいと思うので、台湾の位置付けはどうかとても気になります。			
	140-145	6P (5分)	140-145	2017/10/13 10:36:31
アルペン号 ☆☆	内容が極端で、陰謀論に近い怪しさを感じた。			
	P12~16	5P (3分)	第1章	2017/10/13 10:35:25
むーびー ☆☆	中国ハッカーの怖さに戦慄した。 とても、理不尽で対策が取りづらいハッキングどう対処していけばいいのか考えさせられた。			
	120-128	8P (10分)	サイバー戦争	2017/10/13 09:17:30
眠り猫 ☆☆	正直かなり読みにくかった。一気に読むと飽きます。 全部読むのではなく、それぞれの章で冒頭にある問題をみて興味のあるところだけを読めばいいと思う。			
	1-370	370P (200分)	第一部	2017/10/05 12:27:32



恐怖の地政学

著者名	T・マーシャル	発行年	2016年
出版社名	さくら舎	ページ数	320ページ
値段	2,500円	ISBN	978-4865810769
コメント	こうもぼんぼこミサイルが飛んでくると、なんでこんなとこにわたしの国があるんじゃあ、と嘆きたくなりますよね。でも地形は神様のくださったものだから動かせない。その所与の条件で、どんな国ができてくるのか、世界のいろんな事例のカタログです。ぎっしり本なので、興味のあるところだけ、つまみぐいを。		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
お勧め度					
Sala	インドがどれほど脅威に囲われてるのかよく分かった				
☆☆☆		講義室	12P (10分)		2017/12/01 14:59:26
カメハメハメハ	ベルシャ湾は埋めるべき。				
大王					
☆☆☆☆		1-320	320P (450分)	1-320	2017/11/30 23:49:51
りゅ	地形と政治の関連性について、案外あるものであり、今後ニュースを見る際には気にしてみたい。				
☆☆☆		授業分	35P (30分)		2017/11/30 23:22:58
アヒル	授業で読んだ部分。登録し忘れたので一応				
☆☆☆☆		西ヨーロッパ	21P (10分)		2017/11/30 21:01:07
wase	アフリカが想像以上に広く恵まれない土地であることがよくわかった。				
☆☆☆		授業分	10P (10分)		2017/11/30 20:46:09
ネオガード	授業で扱った作品。想像以上にアフリカが広いということ。地形、地政的にアフリカの発達が難しいことなど新しい視点からものを見ることができ面白かった。				
☆☆☆		アフリカ	10P (12分)		2017/11/30 17:39:06
あああああ	授業で扱った一冊。アフリカの部分は問題点とその解決にいたる流れがわかりやすく書かれている。アフリカにおける恐怖は過去に過ぎ去り、これからは希望に満ちていると感じられた。				
☆☆☆		アフリカ	10P (10分)	アフリカ	2017/11/30 17:10:39

KY ☆☆☆	授業で扱った部分です。経済格差が地理的要因から来るのは何となく知っていたが、ここまで酷いとは思わなかった。特にラテンアメリカは厳しいのだなと感じた。			
	260-279	10P (5分)		2017/11/30 16:36:11
火に強い ☆☆☆	アメリカの部分です。 班での議論の結果、ほとんどアメリカに地理的欠点が無いという結論に至りましたが、後で考えてみると「アメリカの中でも湿地であるワシントンに首都を置き、みんながワシントンに集まらない(=全体の政治をあまりやらせないようにする)」というような考えがあったらしいというのを思い出し、地理的欠点が全くないのも考え物なのかな、と思いました。			
	110-111, 125-129	7P (5分)	読んだ場所と同じ	2017/11/30 15:46:27
すぶたん ☆☆☆	中東について。宗教って僕にはあまり馴染みがないので、イスラムの方々が宗教の事で争うのは理解できません。内容は面白かった。			
	授業分	10P (10分)		2017/11/30 15:35:17
マヨネーズ ☆☆☆	地形がその国の運命に大きく関わっている例をたくさん聞けて面白かった。日本は海に囲まれていて運が良いなと思いました。			
	ロシア	10P (10分)		2017/11/30 14:26:45
yami ☆☆☆	中国についてやった。アメリカがしたかった。。			
	授業でやったとこ	10P (10分)		2017/11/30 14:09:04
めだまやき ☆☆☆	自分は地理も世界史も今の世界情勢も、全然知らないんだなあと痛感した。この本に書いてあることを完全に理解するには、まずはその勉強から始めなければならない気がした。地理条件が歴史や国際関係を作っているという地政学の考えは、新鮮で面白かった。それぞれの国は、地理条件という、どうしようもないものとずっと付き合っていかなければならないのか、と当たり前のことに気づかされ、納得した。			
	第二章の少し	10P (3分)	54-81の一部	2017/11/30 12:47:04
ジョイ君 ☆☆☆	当然のように地理の知識は全くなかったし興味もなかったのだが歴史を遡って説明してくれるし写真もあったので理解しやすい内容になっていた。			
	134-138	5P (10分)		2017/11/30 01:45:55
なおみ ☆☆☆	授業で扱った、ラテンアメリカの章。この章の感想としては、ラテンアメリカかわいそう、その中でもブラジルの健気さ！。現地の話と学術的な話題がうまく織り混ざっていてわかりやすく且つ勉強になった。			
	260-279	20P (40分)		2017/11/29 18:47:05
パイナム ☆☆☆	ラテンアメリカの章。 南米がここまで厳しい地理的環境に置かれているとは思っていなかった。その中でのブラジルの頑張りは称えるべきものだった。			
	260-279	10P (15分)		2017/11/29 17:32:59
YA ☆☆☆	とてもつまみ食いしやすい構成の本。自分の興味のある国の地理的な事情を若干文体が読みづらいところもありながら捉えることが出来るので、楽しく読むことが出来た。			
	1~4,7,8章	188P (60分)	3章	2017/11/29 16:46:13
かえる ☆☆☆	授業で扱った題材です。地理が苦手ですが、懇切丁寧に土地の説明がなされていてなんとなくイメージできました。問題はたくさんあるのに完全な正答がなくて難しい。			
	230-253	24P (15分)	興味があるところ？	2017/11/29 15:35:48

パナコッタ ☆☆☆	授業でやったことです。朝鮮半島と日本。 日本が島国で侵略されなかった一方、朝鮮半島は中国に攻められやすく、地理的に見たら運が悪い場所。 地理と歴史を絡めるのも、すごく面白いなあ、と感じました。			
	90-101	12P (7分)	90-101	2017/11/29 11:48:05
むし ☆☆☆	北極圏の部分。北極圏の重要性がわかった。文章が堅いわりには大した内容でないのが残念だった。			
	286-300	15P (10分)		2017/11/29 08:40:43
painomi ☆☆☆	中国の部分。 本の内容としては、最終的に中国の脅威となるのは自分自身だとまとめており、なるほどとも思ったが、それであるならばどうするという記述がなかったため、その際の対処法がなかったため、知りたいと思った。			
	32-50	19P (20分)		2017/11/28 14:38:35
しろた ☆☆☆☆	地形に恵まれている国がやはり強いのだなと感じた。 また、どこを攻めるかという作戦を地形から決めているということが新鮮だった。			
	ロシア	10P (10分)		2017/11/27 19:33:29
こたつ ☆☆☆	世界情勢にあまり詳しくないので内容が難しかったがインドとパキスタンのいざこざやその原因などを知ることができてよかった。			
	230-253	24P (30分)		2017/11/27 17:52:44
睡魔 ☆☆☆☆	インドとパキスタンの話を他の科目で学んでいたので選んだが、地理的な観点から読み解くのは新鮮で面白かった。 インドとパキスタン、インドと中国の対立と課題の多い立地であるが近隣諸国との兼ね合いをインドに頑張ってほしい。			
	インドとパキスタン	7P (10分)		2017/11/27 10:35:55
イワシは舞い降りた ☆☆☆	授業配布分。ロシア。目新しい話や詳細さが配布分にはないのでいささかの物足りなさ。プレゼンももう少し詳細に話したかったが……。			
	54-57、79-81	7P (10分)		2017/11/24 00:14:05
たたた ☆☆☆	アメリカ内部に問題は特になかった			
	アメリカ	7P (5分)	アメリカ	2017/11/23 19:50:27
日本人 ☆☆☆	授業でロシアを担当した。ロシアは大きな大陸を持っている分、問題も多いのではと思っていたが、いつでも使える港がないことが一番大変なのかなと思った。			
	54-57 79-81	7P (15分)		2017/11/21 21:42:18
hanpen ☆☆☆	ヨーロッパと言っても、格差を抱えているのがわかった。			
	134-155	21P (20分)	134-155	2017/11/20 12:30:03
なめしん ☆☆☆☆	アメリカという土地がとても地理的に恵まれていることがわかった。 自分の土地でどうにかなるのがすごい			
	125-129	5P (10分)		2017/11/19 15:57:31
くま ☆☆☆	授業にて扱った中国の部分。 色々和中国も大変そうなんだなあと感じた。			

	32-50	19P (20分)		2017/11/17 13:51:03
Whereabout ☆☆☆	ヨーロッパがいかに恵まれているか、それと引き換えに脆いかがよくわかった。 ただヨーロッパ内での格差もすごいという…			
	134-155	21P (20分)		2017/11/16 15:22:42
パピコ ☆☆☆	読みにくいが内容は面白かったです。			
	258-282	25P (10分)		2017/11/16 14:14:19
柿の種 ☆☆☆	朝鮮半島と日本の地理的観点から歴史考察をしている。 北朝鮮と韓国の分裂から日本の元寇、日進日露戦争まで話が広がりすぎていてまとまりがなかった。 もう少し分けてかくべきではないのか			
	朝鮮・日本のところ	10P (10分)		2017/11/14 12:29:50
フランスパン ☆☆	欧米諸国が地図上で引いた国境に、民族問題などが終んで情勢が悪化してる現状が書かれていた。解決する方法が書かれていて欲しかった。			
	中東	10P (15分)		2017/11/14 11:21:46
ハンリミット ☆☆☆☆	インドとパキスタンが地形的に、宗教や思想、文化など全く異なり相容れないということが詳しく書かれていた。 地政学は触れたことのないものだったので新鮮だった。			
	インド、パキスタンの部分	10P (10分)		2017/11/13 22:53:07
B6 ☆☆	講義で扱った。北極圏の話。以前、別の教材でマラッカ海峡の話を読んだが、内容が酷似していた。やはり北極の重要性はブレないんだなあと感じた。			
	286-300	15P (10分)		2017/11/12 21:02:14
こあら ☆☆☆☆	授業内で読んだ。中国が『一帯一路』政策を進める上でやはり南シナ海とインド洋が重要なポイントであると改めて認識した。			
	32-50	19P (10分)		2017/11/10 12:55:54
hand ☆☆☆	ラテンアメリカの部分。 読む前のイメージだとアフリカが一番地理的に不利なのだと思っていたが、これを読んでも南米もなかなか不利なのだと気づいた。地理的な問題は根本的な解決ができないので、工夫が大切だと思った			
	258-282	25P (10分)		2017/11/10 10:20:11
むーびー ☆☆	読みづらかった			
	中東のところ！	10P (10分)		2017/11/10 09:53:08
Abe Shinzo ☆☆	アメリカ問題なさすぎでは？ 東海岸から独立の動きがあったことなど地理的にも知識が増えた。			
	アメリカ	7P (15分)		2017/11/09 14:43:34
りんご ☆☆☆	地形が国の争いに大きく影響するのが、インド中国とインドパキスタンの事例から対照的に分かった。その後の深掘りの部分が今いち情報量が少なくて、部分読みだと分かりづらかった。			
	230-232ページ、241-243ページ、250-253ページ	10P (10分)		2017/11/07 10:51:43

ウルトラマン ☆☆☆	まとまりがないので、読みにくい			
	134-155	10P (5分)	134-155	2017/11/07 10:32:55
少年 ☆☆☆	講義で扱った部分。 1つの結論に持っていく文章ではないため、構造的に読みにくさはある。			
	54-81ページ	10P (5分)		2017/11/07 09:07:37
Did ☆☆☆	ロシアの部分。某独裁者の性格が国の性格に現れてるのかと思いきや、地形がかなり大きく影響していて驚き。島国に生まれて意外と良かったのかも、と思います。			
	54-57、79-81	7P (10分)		2017/11/05 23:05:17
こやし ☆☆☆	中国大陸と陸続きで四方八方から攻められて鎖国したくてもできない朝鮮半島。海に囲まれて山がちで攻められにくく、鎖国を成功させた日本。地形の違いでこんなにも違うのか…。			
	90-101	12P (10分)	90-101	2017/11/05 22:54:07
カントリーマーム ☆☆☆	地形という単なる自然現象が、こんなにも二国の未来を分断してしまうものなのかと思った。どんなに人間の文明が発達しても、自然には逆らえないし、うまく付き合っていくしかないのだと思った。			
	90-101p	12P (20分)		2017/11/05 15:40:45
星羅 ☆☆☆	授業にて読みました。西ヨーロッパの部分です。大学受験のときにヨーロッパは気候、地形なども地理で勉強しましたが、それは主要な特徴のみで、土地的な不利益まで考えたことはありませんでした。気候面では日本より大変住みやすいヨーロッパですが、土地利用には日本同様苦しんでいる国もあると知り、勉強になりました。			
	134-155	22P (10分)		2017/11/04 20:09:15
がんぼん ☆☆	アメリカの地形的な問題がほとんど無かったので、プレゼンの内容を考えるのに苦労しました。			
	110-111.125-129	7P (10分)	110-111.125-129	2017/11/04 03:47:04
TRY ☆☆☆	講義で読んだ部分。地理的要因からアフリカについて分析している。科学的発展により、アフリカの未来は明るいということで、とても良かった。			
	160-183ページ	24P (15分)	183ページ	2017/11/03 18:40:40
ひか太郎 ☆☆☆	人類はアフリカから始まったが、今やアフリカが最も出遅れていると言われる。それは他の大陸にはない様々な制約があるからなのだが、裏を返せばアフリカは今最も開発の余地があるということ。これからの発展に注目したい。			
	160-180	21P (20分)		2017/11/03 10:40:13
わんわん ☆☆☆	授業にて。中国の部分 中国自体の呪いというよりは周辺地域から見た呪いな気がした			
	32-50	19P (10分)	32-50	2017/11/03 10:35:01
cy ☆☆☆	授業で扱った。北極での経済活動がどのようになるのか興味を湧いた。			
	286-300	15P (10分)		2017/11/03 10:34:53
アルペン号 ☆☆☆	北極の土地問題をどう解決するのか、これからの世界情勢に期待。			
	286~301ページ	15P (15分)	289~290ページ	2017/11/03 10:27:20

elpistolero ☆☆☆	講義で読みました。アメリカの部分です。中々地理的要因と事象が結びついていない箇所でプレゼンの構成に苦勞しました。			
	110 - 129	20P (15分)	110 -129	2017/11/03 10:25:44
どらやき ☆☆☆	北極圏の解決案を考えるのは難しかった。 他の章も今度読んでみたいと思う。			
	p.286-300	15P (15分)	p.286-300	2017/11/03 10:20:51
どらやき ☆☆☆	地政学という存在を今まで知らなかったが、ただ歴史等から国際関係を学ぶよりも、その国の地理や地形に基づいて論理的に説明される方が分かりやすいと思った。 この本は内容がとても充実しているので部分読みがおすすめです。			
	第1－4章	129P (150分)	第3章	2017/10/30 22:50:18
眠り猫 ☆☆☆	地政学からの世界情勢の分析がされている。 読みやすく、わかりやすかった。朝鮮半島の部分がおすすめです。			
	1-226	226P (150分)	3章	2017/10/20 09:00:07
マーライオン ☆☆☆	現代の国際情勢や世界史のナゾが地図・地形からこれほど読めてくるのがワクワクした。特に北朝鮮の矛盾と現実の本質を的確に言いえてる気がする。			
	p1-p305	305P (200分)	p94-p97	2017/10/02 21:26:50

[TOPへ](#)



この世で一番おもしろいミクロ経済学

著者名	ヨラム・パウマン	発行年	2011年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	217ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478013243
コメント	経済と名の付く授業はイッコも取ったことありません、という超初心者さん向け。 絵ばかりで読むとこほとんどない超お気楽そうなつくりだけれど、侮るなかれ。コメントがなかなか本質的で深かったりします。ミクロ/マクロ、どちらからでも。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
カメハメ ハメハ 大王 ☆	1-217	217P (400分)	1-217	ミクロ経済学の単位は落としていたので苦手意識がありました。この本を読んでも治りませんでした。。。		2017/11/30 23:38:11
りゅ ☆☆☆ ☆☆	全て	217P (210分)		ミクロ経済第一を履修していた事もありすんなり読めた。挿絵があり分かりやすく経済系でない学生にもおすすめしたい。		2017/11/30 23:32:14
ネオ ガード ☆☆☆ ☆	1-217	217P (130分)		漫画っぽい感じで説明されてて解りやすい。 講義で行うような数式で説明するのではなく言葉で全て説明されてて数弱の自分にはとても読みやすかった。		2017/11/30 18:23:40
すぶた ん ☆☆☆ ☆☆	1-217	217P (217分)		来年こそミクロの単位を取るために読みました。優しいです。		2017/11/30 15:57:47
どらや き ☆☆☆ ☆☆	すべて	217P (120分)	前半	ゲーム理論の話が前半に結構取り上げられていて書いてあり、スラスラ読めました。 入門書としてとてもおすすめです。		2017/11/30 13:25:37
Sala ☆☆☆ ☆☆	自宅	217P (90分)	あとがき(超好き)	数学が好きじゃない自分にとってはかなり読みやすかった。経済学について定性的な説明が多く施されているため、手を動かさなくてもサクサク内容が分かるのがよい。		2017/11/29 10:29:15
KY ☆☆☆ ☆	1-217	217P (90分)		今までよくわかっていなかったミクロ経済学が基本的に挿絵があるので理解することができ、また文字数は少ないのでスイスイと読むことができた。		2017/11/28 16:03:33

なおみ ☆☆☆	ちょうどミクロ経済学を履修中だったので、参考書代わりに気安く読めた。私としては日本語いっぱいでもとて理解しやすかったけれど、ザ理系みたいな人にとってはもっと数学っ気がある方がいいのかな。 数学が全くできない私の母が読みたいというので貸してあげたら、楽しそうに読んでました！笑 理解できた？って聞いたら、よくは分からないけど面白いね〜と。そんな感じの本みたいです！			
	1-217	217P (80分)		2017/11/28 12:57:05
わんわん ☆☆☆	マクロの方を先に読んで、『マクロ経済学の基本はミクロやで』って書いてあったのを思い出して借りてみた。すべてを理解するのは難しいけど、今までぼんやりとだけ聞いたことのあった議論についてより深く知れたのは良かった。			
	1-116, 212-217	122P (40分)	68-78	2017/11/21 15:04:46
イワシは舞い降りた ☆☆☆	ごめんなさい、本質的の本質を読み取るだけの能力がわたしにはありませんでした。例によって山形浩生のあとがきが一番面白い。(三回目)			
	1-217	217P (50分)		2017/11/21 01:28:31
なめしん ☆☆☆	授業でやった時はわけが分からなかったがこれを読んでみるとほんとに分かりやすい！！ 経済学が少し好きになった			
	1-217	217P (120分)		2017/11/19 16:04:42
カントリーマム ☆☆☆	今ちょうど習っているミクロ経済学の内容がわかりやすく漫画形式で書かれていてとても読みやすかったし、何より理解が深まった。これでミクロの期末も乗り切れます！			
	1-217p	217P (75分)		2017/11/05 15:32:30
ミステール ☆☆☆	マクロは以前読んでいたので本の雰囲気は分かっていたもののやはり面白い！今回読んだのは今ミクロの授業でもやっている相互のところだが、四人のジレンマなどが面白くかった。時間があつたら他のところも読んでみたい			
	3-14,67-128	74P (20分)	chapter9オークション	2017/10/30 22:09:10
B6 ☆☆☆	絵とセリフがチカチカして読みづらかった。内容はミクロ経済学第1、第2で習う内容に関係していたので面白かった。もうすこし、すっきりした絵やセリフならもっと深く読み込めたと思うが、読みづらさが勝ってしまいギブアップ。			
	1-64	65P (30分)		2017/10/30 18:38:05
あああ ☆☆☆	ゲーム理論、ミクロ経済学の授業を一通り履修した上での読書だったので比較的すんなり読めた。 大学の授業では数式主体で進んでいくわけだが、さらに言葉による概念の補完が加わるとより理解が深まると思う。特に限界費用のあたりは考え方としてなるほどと思った。ただ、初めてミクロ経済に触れる人がとっかかりやすい本かと言われると途中で飽きるのではないかと思う			
	1-217	217P (60分)	需要と供給のチャプター以降	2017/10/26 22:06:17
履修者A ☆☆☆	個人の選択が全体にどう影響するのか、経済以外でも役立ちそうな考え方を学べる。 イラスト主体なためサッと読めそうだが、全ページイラスト主体で文字だけの説明、数式や表がないので、知らないことを理解するのに結構疲れた。 例えば話がマンガチックなため、楽しく取りかかれるチャプターもあった。			
	4-116ページ	113P (40分)	74-94ページ	2017/10/23 23:49:52
がんばん ☆☆☆	絵が多く、内容もそこまで難しくないので非常に読みやすいです。 ミクロ経済学を学ぶと出てくる難しい用語に対して簡単な具体例で学べるので初学者にオススメです。			
	1-217	217P (60分)	193-203	2017/10/20 09:02:16
星羅 ☆☆☆	大学受験は地理選択だったので、経済は中3の社会の授業で習ったのがおそらく最後だったと思います。直訳した文章？なので分かりにくい部分が多く、読んでいてなんとなくぼんやりわかったようなわからなかったようなといった感じでした。個			

	人的には、具体例も式や数字を示してくれた方が理解しやすいタイプなので、ミクロ経済学の知識を得た上で読み直してみるとよく出来ている本だと感じるのかもしれませんが。		
	1-203	203P (120分)	2017/10/20 00:52:20
成田凌 ☆☆☆ ☆☆	経シスなのに経済について全く理解できてない自分にびっくり。		
	1-217	217P (217分)	2017/10/19 14:29:46
ドナルド ダック ☆☆☆ ☆	昨年意思決定論でゲーム理論を学んだので、四人のジレンマを例に最適化戦略におけるパレート効率を考える過程をすべて知った上で読んだ。面白いイラストがメインで漫画のようになっていて、説明も極力専門用語を使っていないため、ゲーム理論を知らない人でも簡単に理解できる。難しいゲーム理論を簡単に習得できるので、まだゲーム理論を知らない人にぜひお勧めしたい一冊となっている。 また専門科目の授業で競走市場における需要と供給の理論、市場供給と市場需要の曲線から市場近郊価格の求め方、価格の弾力性等の知識を持ち合わせて読んでいるが、計算式は一切なく、絵と日常会話で使う用語を用いての語りかけられるように書かれているのに驚いた。なぜなら私達はひたすら立式して微分して未知数を求めるという方法でこの仕組みを理解していたからだ。同じ内容を理解するのにこの本を読むのと授業を受けるのでは習得の仕方が全然違う。このように、専門知識が簡単に得られるようになってるので数式は嫌だけどミクロ経済を理解したいという人にお勧めである。しかし私自身は文や絵よりも、数式を読んで理解した方が早く習得できる。これが理系の人の性分なんだと改めて気づいた。		
	全部	217P (120分)	82-102 130-180 2017/10/17 11:33:38
Taiga ☆☆	入門にしては専門用語のフォローが不足しているし、復習するには冗長だったので使い方が難しい本だと思った。あまり好きじゃない		
	1-217	217P (120分)	2017/10/15 21:46:57
マーラ イオン ☆☆☆ ☆☆	ミクロ経済についてイラストや物語で説明しているけれど、なにより内容が結構本質的です。個人の意思決定や人々の相互関係から、社会全体の経済が理解できること。そのすばらしさや、わかりやすさを体験できます。		
	1-217	217P (60分)	ゲーム理論のところ 2017/10/14 21:19:08
50 ☆☆☆	ミクロ経済のことを例を用いて解説してあったが、翻訳されていたのでわかりやすい例ではなかった。しかし、海外との文化の違いに触れられたような気がして楽しかった。		
	1-217	217P (60分)	2017/10/13 20:27:24
hand ☆☆☆ ☆	僕たちはミクロ経済学を勉強しているので、特別驚くような内容はなかったのだが、例えば「ミクロ経済って何？」みたいな質問をされたときの回答として、とても明快に伝えるのに参考になるなと感じた。		
	1-217ページ	217P (40分)	最終章 2017/10/10 10:42:01
アルペ ン号 ☆☆☆	中学生、高校生が読むと経済への関心が湧くかもしれないという感想。身近なことと経済を結びつけているので、興味をみつきかけにはなるかなと。イラストで教えるスタイルとはいえ、知っていたことなので退屈だった。		
	1-217	217P (30分)	最初から読むべし 2017/09/29 08:59:33



この世で一番おもしろいマクロ経済学

著者名	ヨラム・バウマン	発行年	2012年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	232ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478017838
コメント	みんなが一生懸命努力してるのに、世の中が良くならないって、どういことなの、ねえ！ そのカラクリをしっかり教えてもらえます。しかも爆笑しつつ。経済学の授業を受けていて迷路に入った気がしたら、ここで原点を確認するのもアリ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
りゅ ☆☆☆	ミクロ経済第二を履修するにあたって読んでみたが、ミクロ経済第一の範囲とも被っていて読みやすかった。			
	全部	232P (210分)		2017/11/30 23:41:33
elpistolero ☆☆	もともとミクロが好きで、マクロが好きになれなかったの、これを読んで少しでも興味を見出せたらと思ったが、変わらなかったため低評価。			
	1-232	232P (150分)	なし	2017/11/30 19:05:09
ネオガード ☆☆☆	ミクロを読んだのでついでに読んでみた。構成はミクロと同じで本当にわかりやすいといった感じ。途中で飽きて若干流し読みになった。			
	1-232	232P (50分)		2017/11/30 18:25:59
きっしー ☆☆	漫画なので読みやすく、マクロ経済を理解することができた。 絵もけっこう好き。			
	1-232	232P (100分)		2017/11/29 23:13:03
パンナコッタ ☆☆	合う合わないあると思います。 絵がコミカルすぎるし、ところどころシーンが思いっきりかわっていくので、あまり頭に入ってきませんでした。			
	1-44	44P (10分)	冒頭	2017/11/29 12:29:05
Sala ☆☆☆☆	ミクロが分かりやすかったのでマクロも読んでみることにした。やっぱり学生向けの教科書には少ない定性的な説明が中心になっていてよかった。			
	部室	232P (90分)	あとがき(ミクロと同じ)	2017/11/29 10:45:27
KY ☆☆	このシリーズのミクロ経済学版を読んで分かりやすかったのを読んでみた。 やはり挿絵があり分かりやすいものだった。			

	1-232	232P (60分)		2017/11/29 08:35:27
ネル ☆☆☆☆	マクロ経済の基本についてわかりやすく説明してくれます。 長期的には死んでいるというのは印象に残る言葉でした。 あと、ノーベル賞をもらっている人が多い印象			
	1-232	232P (120分)		2017/11/27 22:18:39
ドナルドダック ☆☆☆☆	同じシリーズのミクロ経済学バージョンが面白かったので読んでみた ミクロ経済とマクロ経済の違いやなぜマクロ経済が必要なかが書かれていてとてもよかった			
	全部	232P (150分)	chapter3	2017/11/25 07:15:02
ドナルドダック ☆☆☆☆	同じシリーズのミクロ経済学バージョンが面白かったので読んでみた ミクロ経済とマクロ経済の違いやなぜマクロ経済が必要なかが書かれていてとてもよかった			
	全部	232P (150分)		2017/11/25 07:14:12
なめしん ☆☆☆☆	自分はどちらかと言うとミクロの方が好きだったがこれを読んでマクロも面白いとおもった あと絵が海外ぼくて好き			
	1-232	232P (120分)		2017/11/19 16:06:11
星羅 ☆☆	ミクロを読んだのでこちらとも思い読んでみました。ミクロよりはなんとなく身近でわかりやすかったですが、やはり本質的な理解は出来ていないような気がします。自分は本当に経済系と相性が悪いんだなと思いました。			
	1-232	232P (180分)		2017/11/14 08:10:31
マーライオン ☆☆	マクロ経済学って本質が掴みにくいと思っていたが、この本はわかりやすいです。歴史によってどのような立場を移ろってきたのかも学べます。格差と貧困、環境問題も経済学の視点で考えてみましょう。			
	1-232	232P (60分)	全部	2017/11/13 20:51:53
Did ☆☆☆☆	おめでとう、これで君もノーベル賞じゃ！が気に入りました。絵と説明している部分のリンクがあまりうまくいかないこともありましたが、マクロの大雑把な概要を比喩を使ってわかりやすく紹介してくれている。			
	全部	218P (90分)	213	2017/11/12 15:25:38
成田凌 ☆☆☆☆	経済学を楽しく学べることに感動。少し意欲が上がったかな？			
	1-232	232P (120分)		2017/11/12 14:50:25
パインアメ ☆☆☆☆	説明がとても分かり易く、マクロ経済学を落とした自分にも理解できた。詳しい知識は載っていないが、マクロ経済の全体図を把握できて良い。 絵は逆に若干分かりづらかったので、説明部分だけ読んでもいいかも。			
	1-232ページ	232P (120分)		2017/10/27 20:33:09
少年 ☆☆	初心者向けでわかりやすいが、情報が薄め。			
	part1	86P (30分)	chapter4	2017/10/27 10:42:24
どらやき ☆☆☆☆	同じシリーズの統計学が面白かったので、この本にも興味を持った。 統計学の方よりも専門用語が多く、読みごたえがあり、なぜマクロ経済学が必要なかが改めてよく理解することができた。			
	p.1-232	232P (60分)	Chapter15	2017/10/17 08:58:54

アヒル ☆☆☆	ミクロな経済がわかった気になる漫画。絵がかわいい。 非公式には「頭痛の種」と呼ばれている(198)が面白かった。			
	1-227	227P (90分)	198	2017/10/13 16:51:08
cy ☆☆☆	文字が少ないからさらっと読めるが、内容が薄いわけではない。直感力を養うことができるかも。			
	全て	232P (50分)	32～44	2017/10/13 10:35:42
イワシは舞い降 りた ☆☆☆	例によって山形浩生のあとがきが本編よりもわかりやすいでした。マクロ変数の概要をつかむのには便利。			
	読了	232P (60分)		2017/10/10 10:49:09
ミスティール ☆☆☆	面白くマクロが学べて授業で理解しにくかった部分の補助には使えそう。ただやはりあまり信用できない統計データ を見ているようで、そこは理系として物足りなさがある。(式が欲しい)			
	1-100	100P (40分)	37-44	2017/10/01 16:46:21
わんわん ☆☆☆	アメコミっぽい。			
	4-37	34P (20分)	20-29	2017/09/27 21:02:44



この世で一番おもしろい統計学

著者名	アラン・ダブニー	発行年	2014年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	233ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478026052
コメント	突然のビッグデータ時代。ひるむなかれ。中心極限定理に仮説検定にp値。あのややこしい約束事、おおもとの発想をざっくりビジュアル化してくれて、さくっと胸に落ちます。(それにしてもミスズ缶とは・・・)		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
りゅ ☆☆☆☆	全部	233P (240分)	統計とは何ぞやというところから深いところまで幅広くカバーしていて一部分のみ読む事もおすすめできる本。	2017/11/30 23:35:00
すぶたん ☆☆☆	1-233	233P (233分)	次こそは統計の単位を取るために読みました。統計って全然面白くないなって思った。	2017/11/30 15:59:54
Sala ☆☆	部室	233P (150分)	ミクロ、マクロに続いて統計の本。前二つが分かりやすかったので期待していたが、統計はやっぱり分かりませんでした。前期確率統計4単位が全部温情60点の僕には統計は無理だと分かった。	2017/11/29 10:47:41
ネル ☆☆☆☆	1-233	233P (120分)	統計の考え方を一から教えてくれる本です。平均と分散から推定までわかりやすく教えてくれます。漫画も面白い	2017/11/27 22:20:11
なめしん ☆☆☆☆	1-233	233P (120分)	ちんぷんかんぷんだった統計がある程度理解できた気がする グラフの見方が分かった気がする	2017/11/19 16:08:24
柿の種 ☆☆	すべて	233P (60分)	統計が苦手でこの本を読んだが、基礎的なことが多くあまり身についたことはなかった。 自分的には数式などをわかりやすく解説している統計学の本が読みたい。	2017/11/14 09:57:53
Y ☆☆	1-233	233P (90分)	マンガ風にしてあり、わかり易く工夫はされているが、内容は最初から理解していた部分だったため読むのが途中で飽きてしまった。一応最後まで読んだが、とても面倒くさく感じてしまった。	2017/11/12 21:16:19

あああ ☆☆☆	統計苦手なので借りました。しかしながらケースの端くれとしてある程度統計の知識は持っていたので、さほど新たな発見はなかったです…			
	1-233	233P (60分)		2017/11/10 11:00:36
がんぼん ☆☆	マンガで書いてあるので、統計の専門的な言葉に対してもイメージがわかりやすいが、情報量があまり多くなく、ちゃんと統計を勉強する人には向かないと思いました。			
	1-233	233P (80分)	214-225	2017/10/25 23:03:07
ひか太郎 ☆☆☆	漫画の形式で、統計の基本を解説してくれる一冊。宣伝通り、最後まで数式がほとんど出てこなかった。早い段階で正規分布を説明してそれから終始正規分布を使った説明に徹していた。これを読んでも大学のテストで点が取れるわけではないと思ったが、基本に立ち返って概要をつかむのには易しくて良い本だろう。			
	1-233	233P (120分)	中心極限定理	2017/10/24 06:26:32
むーびー ☆	漫画っぽく、文字が区切れ区切れで少しの内容を伝えるためにたくさんのページをさいている。分かりやすいかもしれないが読むのがめんどくさく、最初の方で読むのをやめてしまった。特に面白くはなかった。			
	1-45	45P (10分)		2017/10/20 09:07:21
どらやき ☆☆☆☆	統計学に関しては、授業で扱うような専門書しか今までは読んでことがなかったので、マンガのようなこの本はとても新鮮だった。統計学が苦手な人にもおすすめな読みやすい本だと思った。			
	1-233ページ	233P (120分)	p.2-14の導入部分	2017/10/16 22:03:20
hand ☆☆☆☆	「この世で一番面白いミクロ経済学」と続けて読んだ。統計は授業でもやったが、少々複雑で、自分の中でも曖昧に理解していたところを補完してくれたように思う。単純に自分の勉強にもなったし、ミクロのバージョンと同様に、わかりやすく説明するのにとても役立つと思う。			
	1-231	231P (60分)		2017/10/10 10:46:06
イワシは舞い 降りた ☆☆☆	山形浩生のあとがきが明快で良い。			
	読了	236P (30分)		2017/09/28 23:40:01



統計学が最強の学問である

著者名	西内 啓	発行年	2013年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	304ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4478022214
コメント	統計学ナニソレのかたは、とりえず回帰分析の表くらい読めるように。 統計学まかせろのかたは、会得したスキルが実社会でどう役立つかを押さえるために。 それぞれのニーズに合わせて活用できる小回りの良さが身上。とりえず最初に叩き込まれることは、ビッグデータにダマされるな！ です。		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数(時間)
	立ち読みポイント	投稿時間

「データ分析の力」でも扱われていたランダム化がここでも紹介されていて詳しくだったので参考になりました。
データが多い現代で、正しく因果関係を見つける上での具体的な方法が必要だということが分かりました。

ノンリミット ☆☆☆	1-301	301P (120分)	100-	2017/11/30 15:30:21
---------------	-------	-------------	------	---------------------

hanpen
☆☆☆

トレンドになっているビッグデータの安易な信仰の批判、回帰分析の整理など教科書ではわからない、分かりにくいところを文書的に指摘していて面白かった。その反面、読み物としての色が強く、解説がついてはいるものの、既済済みでなければついていけない部分も多かったように感じる。

1-304	304P (240分)	33-34	2017/11/30 14:56:25
-------	-------------	-------	---------------------

なぜ統計学が最強の学問であるかに対して著者は「どんな分野の議論においても、データを集めて分析することで最速で最善の答えを出すことができるからだ」と答えている。
個人的にもデータ分析に興味があるので、確かにそうだと思う一方、データ分析に置いて学ばなければいけない言語は多岐にわたることも留意しなければならない。
最強の学問だとしても最強のツールとして使うには大変な苦労を要するだろう。特に価値を生み出そうとしたら尚更だ。例えば、機械学習を学ぶ上でPython・Rだけでは足りない。SQLはもちろんのこと、定期運用し実際に運用可能なことを証明するにはWebアプリケーションの作成も必要だしCronなどを用いて外部の情報を定期的に持ってくることも必要です。つとqiitaである人が言っていました。なので、安易に手を出すことの危険性についても書いておいて欲しかった。

1-301	301P (200分)		2017/11/29 23:28:38
-------	-------------	--	---------------------

パイナム
☆☆☆

最近授業でよく耳にする統計的ワードが分かりやすく使われていて読みやすかった。
統計学を上手く使えば、他よりも説得力のある主張をできると感じた。
そして同時に、統計学をよく知らない人に対しては、データの使いようでいくらでも騙せてしまうとも感じた。
しっかりと統計学を理解し、情報社会で負けないようにしたい。

第1章-第4章	133P (60分)	92-98ページ	2017/11/23 16:41:07
---------	------------	----------	---------------------

日本人
☆☆☆

統計学がどのように使われてきて、どのように役に立っているのかということがよく分かった。統計学を勉強している最中に、今の勉強は役に立つのか迷っている時に読んだりすると、勉強の意欲が湧いてくると思う。

002-098	97P (75分)	072-078	2017/11/21 21:23:37
---------	-----------	---------	---------------------

なめしん ☆☆☆	始めはまだ理解できたが後半がよく分からなかった。 1週だけだと理解できないので2週する必要があるかも			
	1-304	304P (180分)		2017/11/19 16:11:45
わんわん ☆☆☆☆ ☆	文字が多いし専門外だし全然読めないかと思ったが、アイロニカルな(?)文調が良い感じに読みやすかった。何回授業をやってもよくわからなかった統計学的手法たちのいくつかについては「ああこんな感じでいいのか」くらいの理解ができた。(全部はまだ難しい)立ち読みポイントはこれから自分野の研究に使えるようなポイント。実験系の人たちの参考になりそう			
	1-304	304P (60分)	100-133	2017/11/14 08:51:22
hand ☆☆☆☆	学問的な統計学や人工知能の仕組みは大学で学ぶことができるが、それをビジネスの現場でどのように生かしていくべきかを学べた本であった。ただデータを取ってグラフにしても何が言えるのか、何を改善すべきかなどを考えないといけないと気づいた。			
	1-300	100P (30分)		2017/10/31 10:39:00
ドナルド ダック ☆☆☆☆ ☆	第一章では統計学は最強の学問であると主張している。要約すると「かつての人類は正しい答えを知るためには神の啓示にすがらしかなく、そうでなくなった後も権威ある人間の見識に従う時代が続いていた。しかし今は最善の答えは我々の周りにデータとしてあるから、答えを知りたいければ必要なデータを生むための調査をすれば良い。すなわち統計学さえ習得すればすべての願いが叶うから統計学は最強の学問である。」という内容である。「統計学さえ習得すれば」統計学のみに限定している、とても強い主張だと言える。私はこの筆者の考えに反対である。皆が願いを叶えようと統計学を学び得られたデータから行動を起こすとなると、個々の価値観から選ぶ手段よりも、統計から得られるより効果・利益のある手段を取ってしまうことになる。すると価値観の多様性が失われてしまうと思う。確かに統計を取ることで、より有効な手段を知ることが出来るが、皆の取らない手段をとある個人が取ることでその個人だけは高い効用のある結果を得られるかもしれない。統計学を最強の学問としそれだけに頼ると統計学上では多くの人が取らない手段を取ろうという価値観・考え方を持った個人の可能性を潰してしまうと考えた。 第6章では様々な統計学の相違点が述べられている。この中で特に統計学と計量経済学の表面的な違いに興味を持った。3Qから計量経済学の授業が始まり、これは2Qの統計学と名前が全然違うのに内容が似ていると感じていたからだ。「社会的属性を説明変数とした回帰分析は計量経済学者も社会学分野の統計家も行う。表面的な違いをあえて挙げるなら、計量経済学者のほうが統計家よりも交互作用項を含む説明変数の選択についてより慎重な検討を行う傾向にある。本質的な違いは計量経済学は演繹、統計学は帰納の手法をとる。」という内容である。計量経済学者は演繹の対象にならないモデルは経済学の進歩にならないから、熱心に様々な手段を試し当てはまりの良いモデルを作ろうと考えると、統計学よりも正確なものと感じ計量経済学を学ぶ意欲が湧いてきた。			
	全部	304P (180分)	32-33 255-265	2017/10/17 12:40:11
Taiga ☆☆	ビッグデータへの注目とは裏腹にその技術的理解は進んでいない。実際、私がインターンシップをしていたデータ分析会社にも「ディープラーニングでなにかしてくれ」という漠然とした依頼が来るが多かったようだ。さらにひどいことは、統計・機械学習は一元的なものだと思われており、非常に多くの手法と解釈が存在することが無視されている。クラス分類であればディープラーニングでなくともSVM、ランダムフォレストなど数えきれないほどの手法があり、データに対してどれが最も当てはまりがよいかは分析するまでわからない。しかし流行り言葉としてビッグデータやディープラーニングが先走っている。 この本では統計学と機械学習によってどんなことができるのかを語るとともに、マーケッターのようなライトユーザーへの警告を行っている。掲載している内容は順序だっておらず、簡潔が故に理解しようとするともむしろ難しい。そのため対象読者もだれなのか正直わからずおすすめしない。 しかしサンプルのランダム抽出の有用性に関する記述はおもしろい。サンプルの条件を如何に統一して比較しても、予測されていなかったサンプル群間の特徴差が結果に影響を与える場合があるという主張だ。そこまで神経質になる必要がないと結論づけているが考え方として知っているとどこかの場面で役立つかもしれないと思った。			
	1-301	301P (180分)		2017/10/14 10:16:15
ウルトラマン ☆☆☆☆	回帰分析や、頻度論派、ベイズ論派、計量経済学などの概念をわかりやすく説明してくれた。			
	112-304	193P (150分)	204-266	2017/09/30 13:19:14
elpistolero ☆☆☆☆ ☆	現在もてはやされているデータ解析だがいかにデータを集めるかであったり、そのデータ解析することにどれほどの意味があるのかについて考える必要性を訴えている。確かに、データ解析をして自己満足に浸っているだけでは、元も子もない			
	1 - 304	180P (304分)	65ページから	2017/09/29 08:16:56

ウルトラマ
ン
☆☆☆☆

疫学の始まりから最先端の機械学習まで統計学の強さと重要性を紹介してくれる本です。また、実社会と経営現場などでのデータ応用についても例を取り上げて分析してるので、とても共感できると思います。ただし、ビジネス書なので、基本的な応用や基礎的な概念しか書いてありません。理系の学生にとってはちょっと足りないと思います。

1-111

111P (90分)

48-58ページ、92-98
ページ

2017/09/27 23:07:01

[TOPへ](#)



データ分析の力

著者名	伊藤 公一朗	発行年	2017年
出版社名	光文社新書	ページ数	284ページ
値段	780円	ISBN	978-4334039868
コメント	パネル・データを扱うY研究室(どこ?)の新必読書。 ビッグデータにどう斬り込んで、どうやって新知見を引き出すか、切れのよい説明と魅力的な具体例による、この分野の最適なガイドです。 あなたも知らない間にRCTのターゲットになってるかも？		

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム

コメント

お勧め度

読んだ場所

読んだページ数(時間)

立ち読みポイント

投稿時間

データ分析の基本が書かれており、相関関係と因果関係の違いや、どうやってデータを扱うかについて色々な手法が書かれているが、自分的にはあまり、興味のあるものではなかった

☆☆☆

1-72

72P (72分)

1-30

2017/12/01 23:50:15

りゅ

ビッグデータというものが持つ真の価値について知ることができる。将来ビッグデータを扱う仕事をしてみたいと思えるかも？

☆☆☆☆☆

全部

284P (240分)

2017/11/30 23:38:25

Abe_Shinzo

新進気鋭のシカゴ大若手研究者である伊藤公一郎さんの著作。
導入部分の文章がとても興味深い。「因果関係は相関関係とは違う」という当たり前が見落としがちなのが述べてある。面白い相関関係とググるといろいろ出てくるが、例えばニコラス・ケイジの年間映画出演本数とブルの出来死者数はきれいな相関を示している。しかし、これから「ニコラス・ケイジが映画に出るとブルで誰かが溺死する」と因果付けるのでは、へそが茶を沸かしてしまう。
また本書では因果関係を立証するのが難しい理由を「1:他の要因が影響していた可能性がある」「2:因果関係が逆だった可能性がある」としている。
例えば前者の例でいえば、「満員電車がつらい」という問題に対して、「始業時間が9:00の人が多い」という原因を思いついたとする。しかしこれが原因であると断定することは意外と難しい。会社や学校が一帯に密集していることが原因かもしれないし、電車のダイヤが原因だったのかもしれない。
この因果関係を立証するための手法が本書では4つ紹介されている。ここはご自分で確認してください！（正直長くて読むのが面倒だった）
ちゃんと相関関係と因果関係を区別して、変な結論に至らないようにしたいですね。

☆☆☆☆☆

1-284

284P (100分)

2017/11/24 13:54:16

イワシは舞い降りた

平易で良かった。学部二年でのうちに読めたのは幸運だった。

☆☆☆☆☆

1-284

284P (130分)

2017/11/21 01:24:05

成田凌

本屋とカフェ(ここ好きすぎ)で読んだ。眠かったので集中して読めず、わからなかった。また再挑戦しよ。

☆☆

1-284

284P (150分)

2017/11/17 21:23:51

星羅 ☆☆☆	確かにデータとその原因には様々な要因が絡み合っており、分析する上でそのことを常に念頭に置かねばならないし、因果関係を割り出す際に条件を詳細に考えねばならない。まあそれはそうだよな、という感じだったし、あまり何が言いたいのかわからなかった。			
	1-284	284P (180分)		2017/11/14 08:16:31
こやし ☆☆☆	データ分析を行うことで、予測しづらい人の行動を知ることができる。その結果、より多く支援金をあつめたり政策の無駄を減らしたりすることができる。現代社会では大量のデータが存在しているので、データ分析がさらに発展して、よりよい社会になればいいと思う。本書は実際の分析結果が示されており、また、数式を用いていないため感覚的でわかりやすかった。とても面白く読めた。			
	全部	284P (300分)	第2章	2017/11/06 15:45:29
ノンリミット ☆☆☆☆☆	因果関係と相関関係の違いを多く説明していて良かった。 数式も多すぎずわかりやすかったです。			
	1-274	274P (100分)		2017/10/24 07:50:17
ドナルドダック ☆☆☆☆☆	データ分析について簡単で平易に書いてあり、統計の専門的な勉強をしていなくてもわかりやすく書いてあった。相関関係があるからといって因果関係があるとは限らないという点に最も納得させられた。データ分析において最も大切なのは、なぜデータにこのような傾向が出るのかである。その傾向の原因を追求することで、データのあらわす意味がわかり、そのデータから考察や改善もできるからだ。6章に書かれている犯罪防止のためには罰則を重くするよりも教育を提供することが効果的ということも同感であった。罰則を恐れて犯罪に手を染めることにとどまるのでなくあるべき正しい姿でいるべきだと思うからだ。もともと統計に興味があるのでよりとても楽しく読めた。			
	全部	284P (180分)	第2章、第6章	2017/10/10 12:59:31
Did ☆☆☆☆☆	数式を一切使わないで説明しているので、読者が簡単に理解できるように具体的な事案を使って説明してくれている。多少しつこい説明もあったが、データ分析の技法がすんなりと入ってきて非常に読みやすかった。			
	全部	284P (150分)	第2章	2017/10/09 22:51:44
履修者A ☆☆☆☆☆	何か案を出す際に、説得力を高くしてくれる。 真実を使った嘘のデータに騙されずにすむ。 そんなメリットがありそうなデータの扱い方が書かれている。 分析の種類に応じてたくさん例があり分かりやすい。 どれも実際のデータ、興味を引くデータで飽きにくい。			
	1-284	284P (90分)	167-173	2017/10/04 19:08:12
elpistolero ☆☆☆☆☆	「統計学は最強の学問である」よりもRCTIについて厳密な説明がなされていると思います。数式は巻末に少しついていますが、、、実証分析における主要な実験的手法と観察的手法を短時間で掴むことができると思います			
	1 - 284	284P (180分)	2, 7章	2017/09/29 08:02:29
眠り猫 ☆☆☆☆	数式は出てきません。データ分析をがっつり勉強したい方には物足りないとは思いますが、ビックデータの使い方や考え方の概念を知ることができます。ビックデータの入門前のお試しにちょうどいいレベルです。 これを読めば、データの見方が変わるはずです。			
	1-270ページ	270P (90分)	1章、83-100ページ	2017/09/26 22:00:11



「ハカル」力

著者名	三谷 宏治	発行年	2016年
出版社名	ディスカヴァー・トゥエンティワン	ページ数	280ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4799318331
コメント	計る 測る 量る 図る、謀る——ふだん、どの字がいちばんしっくり来る仕事をしていますか？ ドラクエvsFFの分析(100ページ)とか、親しみやすい事例がいっぱいなので、どこから読んでもOK。自分でデータを解析して商品開発しているような気分になれます。就戦後のイメージトレーニングにどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
火に強い ☆☆☆	そういえば、ヒストリアンズに書き忘れていた。 恥ずかしながらドラクエもFFもやったことないんですけども、なるほど確かに「はかる」事の威力を実感させられる例でした。 技術者にしても経営者にしても、どんなモノが必要とされているか「はかる」スキルは要るのかな？ という問題提起が出来ました。			
	1-279	279P (330分)	ドラクエvsFFの考察	2017/11/30 15:58:39
めだまやき ☆☆☆☆	「ハカル力」という題名の通りに、様々なハカリ方について書かれていた。ZARAなどの短い企業の例や、入浴時間調査といったちょっと面白い題材を扱っていて、とても読みやすかった。主に書かれているのは、商品開発などビジネスについての戦略ではあるが、事前知識なしでも楽しめた。			
	1-127ページ	127P (40分)	1-127ページ	2017/11/30 13:39:10
履修者A ☆☆☆☆ ☆	学校教育の知識を得るだけでは実践で使い物にならないなあ、とインターンで思ったが、足りないのはこの本にあるハカル力じゃないかと思わされた。 新しい発想を持つ、1つに固執しない、とりあえず手を動かすなど将来役立ちそうな思考が演習付きで学べて良い。			
	1-279	279P (90分)	100-110	2017/10/31 10:46:56
マーライオン ☆☆☆☆ ☆	まだ読者数が少ないのがもったいない！ 「ハカル」力の基礎的な枠組みから、新しいハカル対象やハカル方法を実践的な例でわかりやすく説明してくれます。いかにデータから相関関係や因果関係を導き、有用な情報をビジネスに応用するか。履修している計量経済学のモチベ上がります。			
	1-278	278P (150分)	134-143	2017/10/30 23:45:01
びよん ☆☆☆☆	ただ単純に統計のやり方を解説しているのではなく、ハカルときの考え方を丁寧に実例を紹介しながら教えてくれる。とても分かりやすいしためになる。			
	1-127ページ	127P (60分)	100-110ページ	2017/10/17 09:19:21



経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	イタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにていねいに解説してあるのがメリット。楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Sala ☆☆☆☆	工業心理学で行動経済学について学んだが、人間は非合理的な生き物であると知らされて悲しくなった			
	自宅	100P (50分)	帯	2017/12/01 14:57:42
こあら ☆☆☆☆ ☆	『お金と感情と意思決定の白熱教室』を読んで行動経済学に興味を持ったのでこの本も借りてみた。質問形式で日常における様々な事例が紹介、分析されていて面白かった。			
	全部	302P (120分)		2017/11/27 14:42:57
2 ☆☆☆☆ ☆	授業で行動経済の勉強をしたが、その基本となる人間の行動の例などが載っていて、すごく参考になった。			
	1-200	200P (180分)		2017/11/16 12:49:20
柿の種 ☆☆☆☆	行動経済学の話 「予想どおりに不合理」を前に読んだことがあるのですいすい読めた。 行動経済学に興味がある人は是非読んでみてほしい。			
	全部	302P (240分)		2017/11/14 10:20:08
成田凌 ☆☆☆☆ ☆	渋谷の本とカフェというお店で読んだが、質問形式で入って読みやすく、購入を考えたい冊。でも全部お店で読んでしまったので買いませんでした。			
	1-302	302P (180分)		2017/11/12 14:52:27
ネル ☆☆☆☆	読みやすい本でした。経済行動が論理的に行われるわけではないことを実例を用いて説明する本です。教授がプッシュしていました。行動経済学や感情といったものに興味があるならば一読するとよいと思います。			
	1-218	218P (130分)		2017/10/25 19:10:29
50 ☆☆☆☆	経済の動きの根拠には必ず人の心理があることを丁寧に説明している本です。 人の心理を理解するにあたって必ず内容を噛み砕いた読み手に対する質問が出てくるのでとても読みやすいです。			

	1-218	218P (150分)		2017/10/23 21:42:53
--	-------	-------------	--	---------------------

Did ☆	人間の行動は合理的ではない、というのを原因ごとに具体例をあげながら逐一説明していくのだが、最初からずっとその調子なので飽きた。あと具体例があまり自分的に納得いくものが少なく、著者がイタリア人だからなのか、はたまた自分が変わり者だからなのかわからないが、読んでいてそこまで感動できる・関心を持てるものはなかった。			
	1-218	218P (150分)	20-24	2017/09/30 18:32:21

[TOP](#) ^



お金と感情と意思決定の白熱教室

著者名	ダン・アリエリー	発行年	2014年
出版社名	早川書房	ページ数	196ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4152094667
コメント	やんちゃ坊主みたいな先生です。自分で見つけたことがおもしろくてしかたない。学生たちとも発見の興奮を共有したい。はずんだ気持ちそのままの講義ライブ。ものおせずにぼんぼんアイデアをはじけさせるフロアにも助けられて、話の要点がするする入ってくること請け合い。 てっとりばやく行動経済学とお友達になりたいかたに。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
elpistolero ☆☆☆☆	最近生活習慣が乱れて太ってきたので、ダイエットの章を参考にしたいと思います。全体的に文体が固くなくすぐに読めました。			
	1-196	196P (200分)	1-196	2017/11/30 19:01:17
こあら ☆☆☆☆	講義内での対談形式で進められていく本であり、専門的な用語もなく非常に読みやすかった。行動経済学についての本を初めて読んだが、人の意思決定を分析して考察するのも面白いと思った			
	全部	196P (120分)		2017/11/27 14:38:10
睡魔 ☆☆☆☆	対話形式で読みやすい。また、話も例を用いたりわかりやすい。感情について先入観に囚われていたことが浮き彫りになる本。すぐ納得させられた。こんな先生の講義が受けたい。			
	1-196	196P (90分)		2017/11/27 10:39:49
眠り猫 ☆☆☆	対話形式で非常に読みやすい。すぐ読めるので、ページが足りていない人にはありがたい本です。			
	1-196	196P (120分)	第五回	2017/11/09 10:45:25
わんわん ☆☆☆	例え話が多いのでこの手の分野に明るくなくてもなるほどね〜と読める。ちょっと回りくどいときもあるけど。結構身近で、ギクッとさせられる例があるので行動を改めたい。私の感情を合理的な方に向けられたらなあ。			
	8-153	146P (80分)	60-67	2017/11/07 08:54:44
ドナルドダック ☆☆☆☆	男性がスカイダイビングなどのワクワクハラハラするような怖いデートを提供すれば女性はそのドキドキを恋心と間違えて、恋に落ちる。この感情の発端を利用すれば女性を落とせるという話は興味深かった。確かに何もおきないデートよりも何かハプニングが起きるデートの方が楽しかったと思えることは多いがこのような仕組みなのかと驚いた。			
	全部	196P (150分)	85-90	2017/11/02 11:51:45

少年 ☆☆☆☆	割と初歩的な本。様々なインセンティブについて日常の事例から帰納的に考えていく本で、知識がなくても「なるほど～」となりやすい。			
	3.4章	63P (60分)	3章	2017/10/19 12:51:21

マーライオン ☆☆☆☆	デートやダイエット必勝法は一読の価値あり？ 人間の不合理で奇妙な行動や心理。でもそれが、私たちを行動経済学の面白さ・楽しさ・奥深さに導いてくれます。この集中講義には実験やケーススタディも多く、わかりやすく読みやすいです。			
	1-196	196P (120分)	19-22	2017/10/02 21:49:15

hand ☆☆☆	対談形式でとても読みやすかった。 しかし、あまり目新しい内容はなく、結構有名な話が多かったので、そこを期待して読んだら期待はずれかもしれない。			
	1.3.5章	100P (30分)	お金の章	2017/09/28 23:44:07

[TOPへ](#)



ヤバい経済学

著者名	スティーヴン・レヴィット&スティーヴン・J・ダブナー	発行年	2007年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	379ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4492313787
コメント	行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイトに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。 ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Sala ☆☆☆	のんびり読んだのでかなり時間がかかった。他の人が気がかけないようなところに対して真剣に分析しているのは面白かった。ただし、タイトル先行感あり			
	いろいろ	379P (360分)		2017/11/29 10:58:29
なめしん ☆☆	名前に引かれて読んでみたがよくわからん いまいちどこがヤバいのかわからん とりあえずわからん			
	1-379	379P (210分)		2017/11/19 16:13:24
成田凌 ☆☆☆	本屋とカフェにて軽く読んだ。つまみつまみで読んだが、おもしろかった。やばいね。			
	1-379	379P (120分)		2017/11/17 21:21:11
hanpen ☆☆	有名な本なので、じっくり読もうかと思いましたが、個別事例を列挙する形であまりおもしろくなかったです。他の行動経済学系の本の方が好みでした。			
	1-379	379P (300分)	力士のところ	2017/11/14 10:58:51
パインアメ ☆☆☆	最近よく使う言葉「インセンティブ」について深く書かれていて、為になった。 「インチキを見破る方法」など書かれていて、楽しく読み進められる。			
	19-59ページ(第1章)	41P (30分)	33-35ページ	2017/11/14 00:52:34
elpistolero ☆☆☆	将来ノーベル経済学賞を有力視されている気鋭の経済学者によるベストセラー本。映画にもなっていますね。皆が興味を持ちそうなトピックについて、ガチの実証分析で殴りに行くという明快なスタイルは興味深いです。分量が多いので、興味を持ったところから読むのがいいかも。			
	1-400	400P (350分)	犯罪関連の章	2017/11/03 22:54:46

眠り猫 ☆☆☆	面白いところとつまらないところがはっきり分かれてしまったという印象がある。1章の前半が特に読みづらいつと感じた。 また、6章はアメリカ人の名前について論じられているが、日本人には理解できないだろう。 それでも、データの分析という観点では興味深い。実際にこの本での分析が正しいかはわからないが、一読の価値はあるはずだ。 あと、地味におまけの前半が面白かった。			
	1-379	379P (300分)	5章	2017/10/30 00:34:53

あああ ☆☆☆	題名に惹かれて借りたが、なんだか読みづらかった。海外の本らしい、ウェットに富んだ文章ではあるが、それが冗長らしさももたらしている。内容自体は興味深い。よもや相撲の八百長が経済学に絡められるとは			
	1-255	255P (300分)		2017/10/22 23:15:58

Abe_Shinzo ☆☆☆	行動経済学のベストセラー。(マジ?) 書き方が冗長であまり頭に入ってこなかった。 同著者による米人気Podcast,Freakonomicsを知っていたため読み出したが、断念。			
	1-70	70P (100分)		2017/10/01 02:12:46

少年 ☆☆☆☆	金銭に限らず、「動機づけ」にピックアップして書かれた本。金銭は1つの手段でしかないという考え方。			
	1-136	136P (150分)	19-60	2017/09/29 10:26:11

[TOPへ](#)



競争と公平感

著者名	大竹 文雄	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	245ページ
値段	780円	ISBN	978-4121020451
コメント	何を以て「公平」と認定しますか？ 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平？ でも、努力と能力は比例しないわけだから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK? 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口を提示してくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	読んだ場所	読んだページ数(時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
あああああ ☆☆☆☆	1章	78P (100分)	1章のみ読んだ。 日本人は競争が嫌いという趣旨が書かれている。 いま僕たちが学んでいることが実際に生かせるかどうか。 それは日本人の気質を知ることの可能性は高まると思う。		2017/11/30 21:44:35
宇宙 ☆☆☆☆	219-227	9P (10分)	経済についての知識が乏しい私ですが、エピソードが面白かったです。エピソードでは経済学が役に立つのか？という点について簡単に書かれているので、経済学に興味をもつきっかけになるかもしれません！	エピソード	2017/11/14 03:30:58
elpistolero ☆☆☆☆	1-245	245P (180分)	国内の行動経済学の有名な研究者による新書。個人的に面白かった(やっぱそうだよね)と思ったのはエピソードの内容。1点目として、学問を学ぶ際に自分なりにそれが社会においてどのような文脈で役に立つのかを言えるようになっていたいということ。2点目として、お金は幸福の十分条件ではなく必要条件であるからそれを追求するというよりも不幸な状況に陥らないために最低限のリテラシーを持っておきましょうという点について個人的な考えと似ていた。	エピソード	2017/11/03 22:52:42
眠り猫 ☆☆☆☆	1-233	233P (120分)	細かく章が分けられており、少し読むのには適しているだろう。ただ、2010年と少々出版された時期が昔であるところがマイナスポイント。 内容は分かりやすいが、全体的にうすいような気がした。目次で自分の興味のある部分だけ読めば十分だろう。	136-143	2017/11/03 17:18:04
マーライオン ☆☆☆☆	1-233	233P (150分)	硬めの経済学の本は難しいという印象でしたが、この本は違いました。 僕自身の社会に対する問題意識とも重なり、経済学者の立場からの「市場経済のメリット」や「格差・貧困」の論点をのめり込むように学びました。最近のノーベル経済学賞の研究や、価値観・心理・文化・ジェンダーなどにも豊かに言及し、解決すべき課題のヒントを提示してくれます。 ちなみに僕は夏休みの宿題は自由課題以外は7月中に終わらせてました。(将来にホッとします)	105-107ページ	2017/10/30 23:59:54

履修者A ☆☆☆	日本にずっといると気づかない、他国と日本人の考え方の違いについて考えるきっかけになった。確かに自由経済のメリットは自分もあまり分かっていなかった。そういった基礎的な説明から、具体的な策まで、知らない人でも理解しやすいと思った。			
	1-233	233P (120分)	132-135ページ	2017/10/27 15:31:35
ドナルドダック ☆☆☆☆	不況により、「努力よりも運が成功を作用している」と考える人が多いのは残念であるが、この本を読むと仕方がないと思われる。非正規雇用の問題については、正社員削減を条件に非正規社員を削減する、正社員の解雇についてもっと寛容的になる、非正規社員の任期の長期化については大賛成である。このような制度を整えば、非正規社員と正規社員の差が今までより縮まり、非正規社員にもお努力することで成功を手に入れられることを実感出来る社会になって欲しいと思う。			
	全部	245P (150分)	70-80	2017/10/10 13:21:49
アルペン号 ☆☆☆	この本は2010年に出版という新書にしてはちょっと古いかなと感じた(データや政治などが)、意外にも信用できる内容であった。アメリカといった世界と日本を文化的に比較して、日本特有の問題点を提案していたのは面白かった。しかし、ロバート・ライシュの「最後の資本主義」を楽しんだばかりだったので、物足りなく感じた。			
	1-233	233P (120分)	90-100ページ	2017/10/02 23:19:29
アヒル ☆☆☆☆	日本人は他の国の人に比べて市場経済や、国が弱者を保護することに対して否定的な考えを持っているとか、普段の生活でなんとなーく感じてることがデータで示されててスッキリした。 73-78ページに書かれてる学校で市場経済のメリットが教えられてないっていう指摘は正にその通りだと思った。			
	全部	245P (150分)	7-9.52-54.73-78ページ	2017/09/27 17:41:26



美貌格差

著者名	ダニエル・S・ハマーメッシュ	発行年	2015年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	254ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4492314531
コメント	よのなかねかおかおかねかなのよ——じゃなくて。顔とお金は相関するんだよ、というこわーいお話。 女性の場合、容姿がいいと収入が8%もアップするんだって、マジ？ じゃあ、ブサイクは法律で保護されるべきなのか、どう思う？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Sala ☆☆☆	イケメンは正義。ほくも圧倒的イケメンに生まれたかった			
	講義室	10P (10分)		2017/12/01 15:02:16
カメハメハメハ 大王 ☆☆☆☆	誰もが一度は考えたことがある内容だと思う。外見と経済力の相関。イケメンに生まれたかったと本当に思いました。。、			
	1-254	254P (300分)	1-254	2017/11/30 23:43:24
mini ☆☆☆☆	面白いテーマだった。時間がなくて、本を借りることはできなかったのですが、春休みなどを使って読んでみたい			
	授業分	7P (15分)		2017/11/30 20:10:19
あああああ ☆☆☆	授業で扱った一冊。 自分の担当した分もそうでない部分もひたすらに 美貌と経済力などの相関について書いた 悪く言えばデリカシーのない一冊。 でも事実がかかれいているので何も言えない。 なんとなくこの回嫌だったなあ…			
	授業担当分	6P (10分)		2017/11/30 17:32:28
wase ☆☆☆	今までなんとなく感じていた不平等について述べていてわかりやすく読みやすい			
	授業分	7P (7分)		2017/11/30 16:49:30
ノンリミット ☆☆☆	美男美女は経済面でもこんなに得をしているとは思わなかった。 整形はまわりからの目が気になるけど、今の地を捨てて整形をして誰も知らない所に行くのもアリかもしれないと思った。 百田尚樹の「モンスター」を思い出した。			
	1-238	238P (100分)		2017/11/30 15:36:30

すぶたん ☆☆☆	整形している女性、自分の運命に抗う感じがしてかっこいい。僕は好きだ。わら			
	授業分	7P (7分)		2017/11/30 15:31:25
マヨネーズ ☆☆☆☆	とても興味深い話だった。この授業を受けて整形したい欲がとても出てきました。			
	授業で扱った部分	5P (5分)		2017/11/30 14:27:42
yami ☆☆	美男美女でも苦労している人はいると思うので、最良の方針はみんな整形することです。(整形履歴は履歴書に記入すること)			
	授業でやったとこ	5P (5分)		2017/11/30 14:15:23
カントリーマ ム ☆☆	不本意ながら美貌は少なからず影響するという事実に納得してしまった。			
	1-238	238P (120分)		2017/11/30 08:59:20
TRY ☆☆	生まれつき不平等である容姿。イケメンになりたいと思いつつ、与えられたもので頑張るしかない。			
	1-238ページ	238P (200分)	14-23ページ	2017/11/30 03:18:37
きっしー ☆☆☆	美人やイケメンは得をするということを具体的に書いてあった。 羨ましい…。できる努力はするべきだと感じた。			
	授業で扱った分	5P (10分)		2017/11/29 23:22:13
かえる ☆☆	授業で取り扱った文章。 性的に(?)ブサイクというのがすごくディスアドバンテージになるから、こういうことはよく考えます。学歴だけじゃ殴れない……			
	32-39ページ	8P (10分)	おもしろそうところ?	2017/11/29 15:23:05
パンナコッタ ☆☆☆☆	授業でやったところです。 ブサイクは法律で保護されるべきか... ブサイクの線引きの方法が難しいし、被保護ブサイク(?)への差別がありそうかなあと思いました。 それにしても、イケメンに生まれたかった。(切実)			
	ブサイクは法律で保護されるべきか	6P (5分)		2017/11/29 12:05:45
なおみ ☆☆☆	授業分。美人は得する、とかそういう都市伝説的な話に真っ向から切り込んでいてとても新鮮だった。こういう問題ってみんな気になっているけど話題にするのはタブーかな、というイメージがあったので、そのモヤモヤを一冊の本にしてスカッと解決してくれたような印象。			
	ブサイクは法律で保護されるべきか の章	6P (10分)		2017/11/29 11:02:31
KY ☆☆	口にするのは多少の勇氣はいるが誰もが思ったり、実際に感じたことのある「美貌格差」そのことについて著者は経済学的アプローチで野心的に切り込んでいた。 読み終えた今外見のハンデを乗り越えるために手に職をつけることが大切だと思った。			
	1-254	250P (180分)		2017/11/28 15:50:32
painomi ☆☆☆	容姿ってやっぱり大切なんだなって改めて思った。考えさせる内容でした。			
	98-104	7P (10分)		2017/11/28 15:10:11
まりも ☆☆☆	授業で取り扱った 見た目には可能な限り気を使わないとなあと思いました。			

	美容院とか、やれるだけやろうと 収入と、あと美人と結婚したい(欲望)			2017/11/27 11:06:49
	容姿が良ければ稼ぎも大きいのところ	10P (10分)		
フランスパン ☆☆☆	イケメン美女が得をする世の中(たぶん) 容姿が実際の年収に関わるという実験結果を聞いた時納得した。			2017/11/26 23:43:54
	講義で扱ったところ	8P (15分)		
くま ☆☆☆	授業で一部を扱い、面白そうであったので結局全部読んでしまった。不細工は不細工なりに頑張っても限界があるのかっていう現実直面して、非常に残念だが、まあそうだよねと納得した。			2017/11/17 13:53:46
	1-254	254P (240分)		
Whereabout ☆☆☆	生まれながらにして収入に格差が出るという恐ろしい話。 高身長イケメンに産まれたかった。			2017/11/16 15:23:50
	60-66	6P (5分)		
むーびー ☆☆☆☆	整形で2300万円生涯収入が増えることに驚いた‼️			2017/11/10 09:55:40
	収入との関係のところ	10P (10分)		
りんご ☆☆☆	やはり、美しさは大事だと思った。女性より男性の方が影響が大きいのは予想外だった。年収が最大23万ドルも変わってくるの大きい。			2017/11/07 10:54:57
	60-66ページ	7P (10分)	64-66ページ	
ネオガード ☆☆☆	タイトルを見てなんとなく予想した展開とは違うものだった。経済的な格差がそこには関係していて単純な見た目の話では済ませれない。 でもちゃんとブサイクな人はそれ以外に何か良いところがあるはず。 そんな本です。			2017/11/06 22:10:32
	1~230	230P (300分)	1~230	
少年 ☆☆☆	講義で扱ったもの。 容姿による差は普段から感じてはいたが、法律で解決、という視点は新鮮だった。			2017/11/03 08:48:11
	212-217	6P (5分)		
宇宙 ☆☆☆	「美貌の格差」というタイトルから、イケメンや美女がモテるという、そんな単純な内容を予想していた。しかし、その予想を超えるような内容だった。まさか容姿が経済的な格差を作り出すとは考えてもみなかった。経済学の視点から美貌を語る本です。			2017/11/03 01:46:38
	1-238	238P (240分)	全部	
どらやき ☆☆☆	人間は中身だと良く言われている割に、こんなにも容姿の美しさが年収に影響していることにとても驚いた。 さらに、この美貌の格差を経済学で考察しているのもすごいと思った。			2017/11/02 22:44:44
	すべて	254P (120分)	第3章	
柿の種 ☆☆	年功賃金について 個人的には能力のない年寄りの方が給料が高いのは納得いなくて、実力成果型の方が良いけど、、 アメリカも実力成果型だし			2017/11/02 14:43:41
	157-163	7P (5分)	157-163	

がんぼん ☆☆☆	顔の善し悪しで選挙の結果まで変わってしまうのは残酷だなと思いました。			
	98-104	7P (10分)	102-103	2017/10/31 22:36:50
ひか太郎 ☆☆☆	授業で扱った部分で、容姿の良さが生涯年収に与える影響について述べてあった。学歴など他の影響と比べたら対して関係ないだろうと思っていたが、決して無視できない相関があって意外だった。			
	60-66	7P (10分)	60-66	2017/10/31 10:37:56
Did ☆☆☆	容姿(特に顔)と収入の相関がつつらと書かれている。因果関係とか使う値の評価など統計を習いたての我々にとってはこいう風に使うのかとタメになり全く胡散臭さもないが、感動や驚きがなくただ実験と結果を並べているだけ			
	1-164	164P (120分)		2017/10/30 21:27:14
星羅 ☆☆	かなり論文チックな文章だったので、読んでいて面白いとはあまり感じませんでした。まず『美人の定義づけ』についてかなり長々と続き、結局結論はどこ？2700万ってどこから出てきた？？といった印象でした。少なくとも美人が得をするのは確実で、ブサイクでも他の長所(例えば性格面とか)を伸ばせば救いようはなくてはいいよ、ということらしいので所作に気をつけたいと思います。			
	1-230	230P (300分)		2017/10/17 09:12:53
パピコ ☆☆☆	容姿だけでなく生まれ持ったスペックによってハンデが生じるのはよくあることで、まあ仕方ないかなと思った。			
	1-250	250P (100分)		2017/10/10 10:20:37
火に強い ☆☆	知り合いにミスコンに出場した人が2人いる。 1人は、ミスコンで周りからもてはやされ、海外旅行のチケットとか宝飾品とかをもらっている美女。 もう1人は、頼まれてミスコンに出場し、SNSなどで批判されたり、現実でストーカー等の被害に遭ってしまった美女。 2人も美貌の持ち主なのに、なぜここまでの差が生まれるのか？ …っという疑問をもって読んでいたのですが、あまり解決せず…。 ただ、これだけは言えます。イケメンは、得だ。			
	1-112	112P (120分)	90-96	2017/10/03 12:55:13
めだまやき ☆☆☆	「美人の方が人生得をする」という経験則を、真面目に説明している1冊。美貌をどのように量るかといった定義もきちんとされていて、そもそも学術的な美貌の測り方が存在するのか、と驚いた。「美しい方が得」と公に口にするのはタブーではないかと思っていたので、美貌格差の内容自体より、美貌格差を真面目に研究し、口に出す人がいたのか、と衝撃を受けた。			
	1-60	60P (30分)	1-60	2017/09/29 14:41:54
あああ ☆☆☆	正直、美形がどういった点で優れているのかのを知るといよりかは「ブサイクはどうすればいいんだよ」という疑問を解決する為にこの本を読んだのだが、正直「まあそうだよな…」ということが書かれていた。しかし美形に関する実験などがこと細かに書かれていて興味深くは読めた			
	家	250P (150分)	第二章、第九章	2017/09/28 22:58:19



オイコノミア ぼくらの希望の経済学

著者名	NHK制作班＋又吉直樹(ピース)	発行年	2014年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	254ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4022510839
コメント	テレビ番組だから、ほんとにさらっと各トピックをひととおり紹介するだけです。 経済本を読み慣れてる人には物足りないでしょうが、今まであまり縁がなかったり、広く浅く手っ取り早くおさらいしたい人には便利でしょう。たぶん、1時間で全部読めます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
なおみ ☆☆☆☆	元のテレビ番組を何回か観たことがあったので試しに借りてみたら、思いのほか面白かったです。 勉強本だけどほんとにサラッとしていて、その感じもまたテレビ番組にそっくり。			
	1-254	254P (100分)	第6章	2017/11/30 17:20:10
日本人 ☆☆☆☆	対話形式の本でとても読みやすかった。色々な題材を使って経済学の色々な話に触れられるから面白い。			
	1-148	148P (60分)	103-127	2017/11/28 21:23:12
睡魔 ☆☆☆☆☆	普段意識していないことについてなるほどと思わされる本。 会話形式で書かれているので読みやすい。			
	1-86	86P (60分)		2017/10/13 08:28:21
火に強い ☆☆☆☆☆	既にあった評価が☆2なのであまり期待せずに読んだら面白かった。 というのも、私は経営工学系ではなく、経済についてカラッキシだから。 この本は、経済？ なにそれ？ と言う人にこそ読んで欲しいような本かな、と思いました。日常的な事例から経済学を紐解いていく、それこそTV版オイコノミアをぎゅっと詰めたような本です。 元となる番組が好きな人なら面白いと思えるはず。 ただ、経営工学をメインでやっている人にとっては、物足りなさを感じるかな…。 あくまで一般人に対するお勧め度ということで、☆5にします。			
	1-254	254P (180分)	第8章(給料の箇所)	2017/10/10 00:20:29
elpistolero ☆☆	その他経済学関連の本を読んでいたことと、理論の説明に使われている例がイマイチだったため途中でやめた			
	1-130	130P (50分)	part6	2017/09/29 19:47:16

[TOP](#)